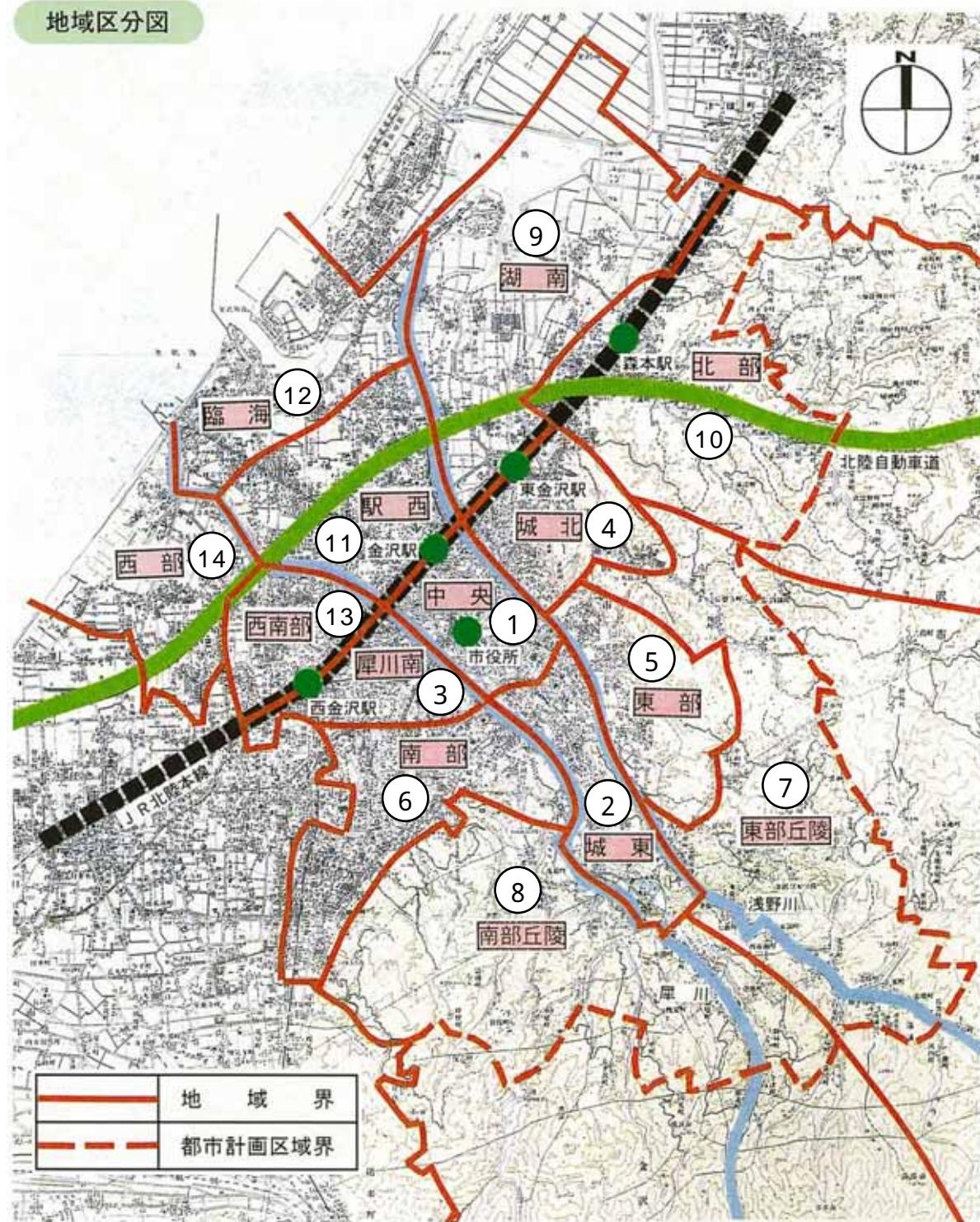


第5章 地域別のまちづくり方針

5.1 地域区分

地域のまとまり（領域感）や市街地の形状等を考慮し、河川、鉄道、道路等の地形、地物を主に用いて、下記の14地域に区分します。

地域区分図



5 2 地域別のまちづくり方針

1. 中央地域

(1) まちづくりのテーマ

『歴史的文化と近代的文化が調和した

活力ある城下町金沢の都心』

都心部に重層的に集積している近世、近代の多くの歴史文化遺産群を保全しつつ、さらに磨きをかけ都心部の魅力向上を推進します。

また、保全と開発の調和に配慮しつつ、北陸新幹線の金沢開業を控え、北陸の玄関口にふさわしい都心機能の強化や近代的なまちなみ形成を図ります。

さらに、中心市街地の商業機能の活性化や公共交通と歩行者を主体とした交通体系の推進、まちなみ定住促進など、都心部の求心力の向上を重要課題としてまちづくりを目指します。

(2) 主なまちづくりの方針

城下町金沢の近世、近代の文化遺産群の保全整備を行います。

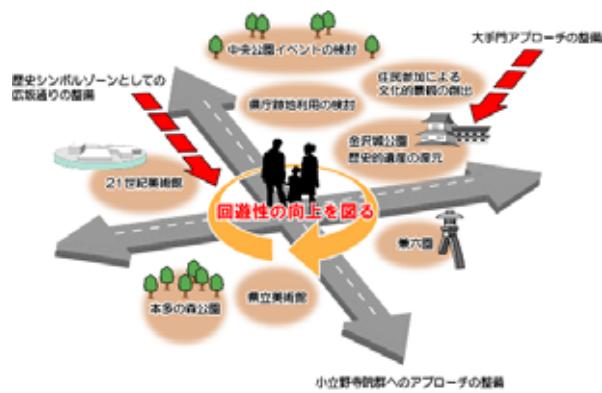
まちなみ居住の推進や商業、業務機能の充実を図ることにより、住、遊、職のバランスがとれた、にぎわいのある中心市街地の再生を図ります。

公共交通、歩行者優先のまちづくりや防災基盤の整備等により、利便性に富み、安全、安心して暮らせる快適なまちなみ居住環境の創出を図ります。

用水と緑に彩られたうるおいのある都心空間の形成を図ります。

1) 土地利用の方針

- ・伝統的なまちなみの保存と、近代的なまちなみの形成によるバランスのとれた土地利用を推進し、金沢らしい歴史や文化を感じさせる都市空間の創出を図ります。
- ・いたずらな駐車場化の抑制や空き家、空き地等の低未利用地の流通促進による有効利用や、共同化による土地の適正な利用を図ります。



【歴史シンボルゾーンのイメージ】

- ・旧来からの低層住宅を中心とした住宅地については、居住再生地区としてこの趣を残しつつ、防災、住環境面の向上を図るための再生を進めます。
- ・密集市街地の居住環境改善や伝統的環境に配慮した住宅の供給等に併せ、各世代のバランスのとれたまちなか定住を促進する土地利用を図ります。
- ・高齢者等が暮らしやすい環境を創出するため、各種サービス施設の適切な立地に向けた土地利用の誘導を図ります。
- ・金沢城、兼六園周辺については、歴史文化シンボル地区として、今後とも世界に誇れる金沢の顔となるよう、保存や活用を図ります。
- ・金沢駅から香林坊、片町に至る都心軸の沿道地域においては、商業、業務機能を集積するとともに、まちなか居住との複合的な高度利用を図ります。

2) 地域基盤整備の方針

地域整備の方針

- ・歴史、文化資源の保全に配慮しつつ、商業、業務機能の充実や公共交通機能の充実、快適な歩行環境の創出等により、多くの人々が賑わう魅力あるまちなかの形成を図ります。
- ・町家の継承、活用や空き地、未利用地の適正な活用を誘導する施策として、**工芸作家等に対する活動の場の提供などを検討し、歴史的建造物と調和したまちなみの形成と地域活力の維持、向上を図ります。**
- ・各地区の特性に応じた居住環境並びに防災機能の向上を図るため、各種制度を活用し、住民と行政の協働のもと、金沢独自のきめ細かなまちづくりを推進します。
- ・身近な地域商業地の活性化を図り、誰もが暮らしやすい市街地としての機能を充実します。
- ・金沢城及び兼六園周辺、犀川、浅野川の河川敷空間については、引き続き風致地区として、その自然環境の保全に取り組みます。



【賑わいのある商店街】

交通施設等整備の方針

- ・北陸新幹線の金沢駅までの開業を見据え、金沢駅及び駅前広場の利便性向上を推進するとともに、まちなかシャトルの運行拡充など、金沢駅と都心部との結びつき強化に向けた二次交通の充実を図ります。
- ・中心市街地活性化のためにも、公共交通重要路線を中心にバスや鉄道の利便性向上を図るとともに、将来的にトランジットモールの導入について検討します。
- ・当面は、路線バスを中心とする既存公共交通機関の利用環境改善による利用促進を図りながら、将来的な新しい交通システム導入のあり方について継続的に検討します。
- ・ふらっとバスや路線バスの利便性向上について交通事業者と連携を図りながら検討するとともに、バス待ち環境（バス停、バス待ちスペース等）の整備等を図り、利用活性化を推進します。
- ・効率的な商業、業務活動の支援や買い物環境の向上を図るため、公共交通利用と自動車利用とのバランスに配慮して駐車場の適正配置を推進します。
- ・歩行者や自転車が快適にまちなかを回遊できるよう、歩道等の道路整備をはじめ、まちかどベンチやまちなかトイレ、観光案内板を整備し、まちなか歩行回廊の形成を図ります。



【新幹線開業を控えた金沢駅】



【歩ける歩行回廊】

公園緑地整備の方針

- ・金沢城公園、兼六園、周辺部の都市公園や緑地については、緑の保全活用を図りながら、地域の歴史、文化の魅力向上を目的とする整備を進めていきます。



【特別名勝兼六園】

- 寺社や民地に残されている巨樹、樹林の保存を図り、まちなかの緑の保全に努めていきます。
- 未利用地を活用した緑地等の整備をはじめ民有地の緑化や商業、業務施設の屋上緑化、町名ゆかりのシンボル樹の植栽等、まちなかの緑の増大を図ります。

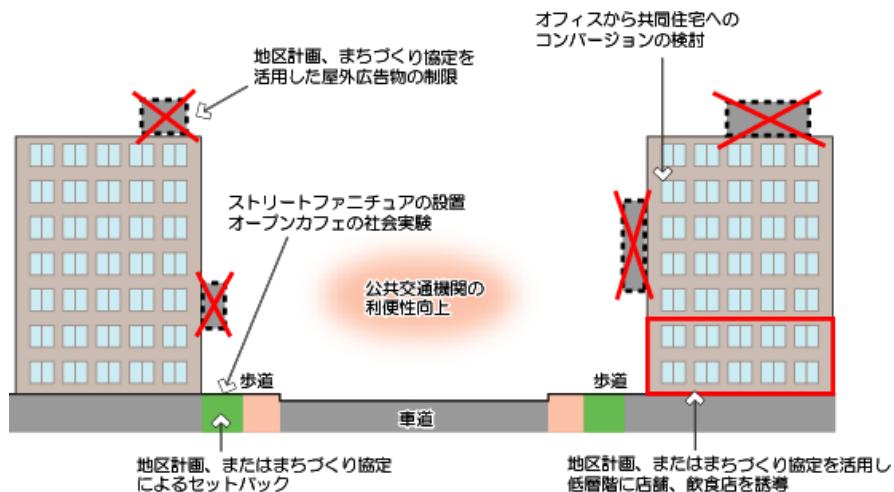
3) 地域環境整備の方針

地域環境形成の方針

- 金沢城跡（国指定史跡）や兼六園（特別名勝）**惣構跡（市史跡）**等の城下町金沢の歴史遺産群の保全、復元を積極的に推進します。
- 金沢城や長町武家屋敷群、主計町、こまちなみ区域等の歴史的、文化的景観を保護、保全するとともに、その周辺の景観についても各種条例により、保全、創出を図ります。
- 都心軸及び広坂通りについては、地区計画やまちづくり協定等を活用したきめ細かな近代的都市景観の創出を図ります。
- 特に、兼六園や金沢城公園周辺では、歴史的風致の維持、向上や魅力的なまちなみの形成に向けて、無電柱化を推進します。
- 中心市街地を流れる用水の水質維持や流量確保に努めるとともに、辰巳用水の開渠化や大野庄用水等の修景により、うるおい豊かな都心環境の形成を推進します。
- ホタル等の生き物の生息環境を保護するためにも、都心部の貴重な自然環境の保全を推進します。



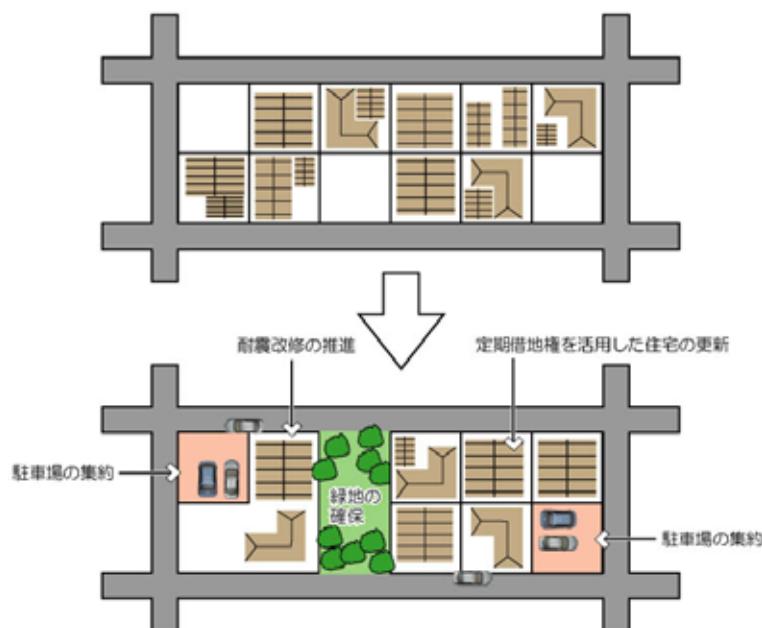
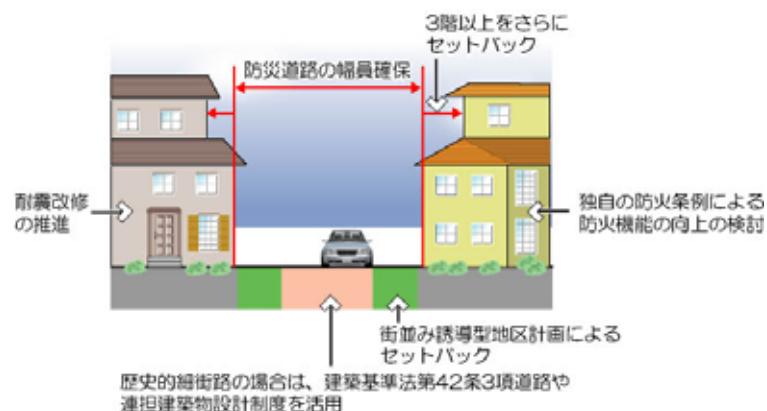
【中心市街地を流れる用水】



【都心軸のイメージ】

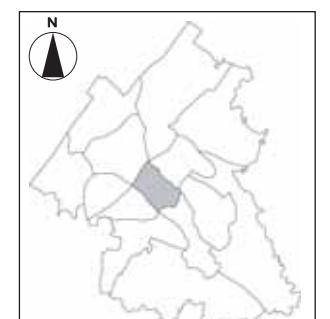
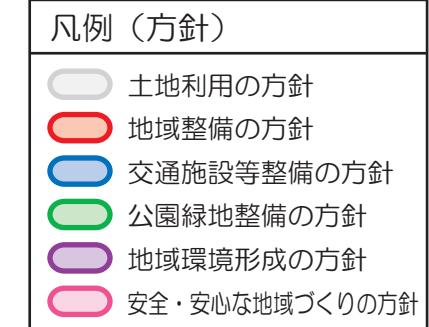
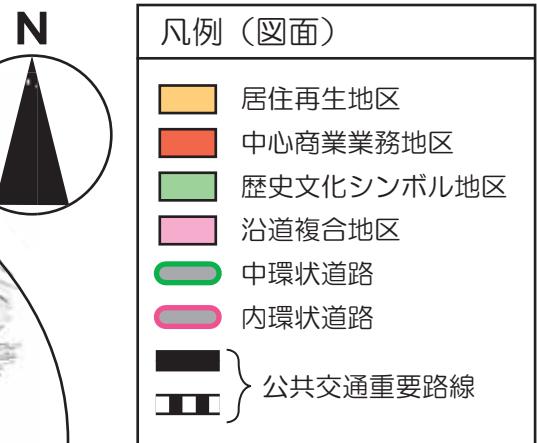
安全・安心な地域づくりの方針

- 木造住宅密集地など、防災上危険な地区においては、住民と行政の協働のもと、各種制度を活用した基盤整備や住宅の不燃化、耐震化を図ります。
- 伝統的なまちなみを保全するため、歴史的建築物の耐震診断、耐震化を図ります。
- 地域住民が確実に安全に避難できるよう、避難場所の整備、確保を図るとともに、高齢者や障害者等の利用に配慮し、バリアフリー化等に対応した避難場所の確保を図ります。
- 水害に強いまちづくりのため、犀川、浅野川等の河川や内水を適切に管理し、必要な整備を図ります。



【密集市街地の改善】

『歴史的文化と近代的文化が調和した活力ある城下町金沢の都心』



地域に点在する世界に誇る文化遺産群を調査し、価値に基づき保存します。(歴史的風致の維持及び向上)
さらに、これらの保全と活用により、風格と賑わいのある都心空間を創造します。

中心市街地の活性化に向け、活気と賑わいにあふれ、まちなか居住の良さが実感できるまちづくりを推進します。

- ・バスの利便性向上
- ・トランジットモール導入の検討

都心軸や広坂通りにおける地区計画、まちづくり協定等による近代的都市景観の創出

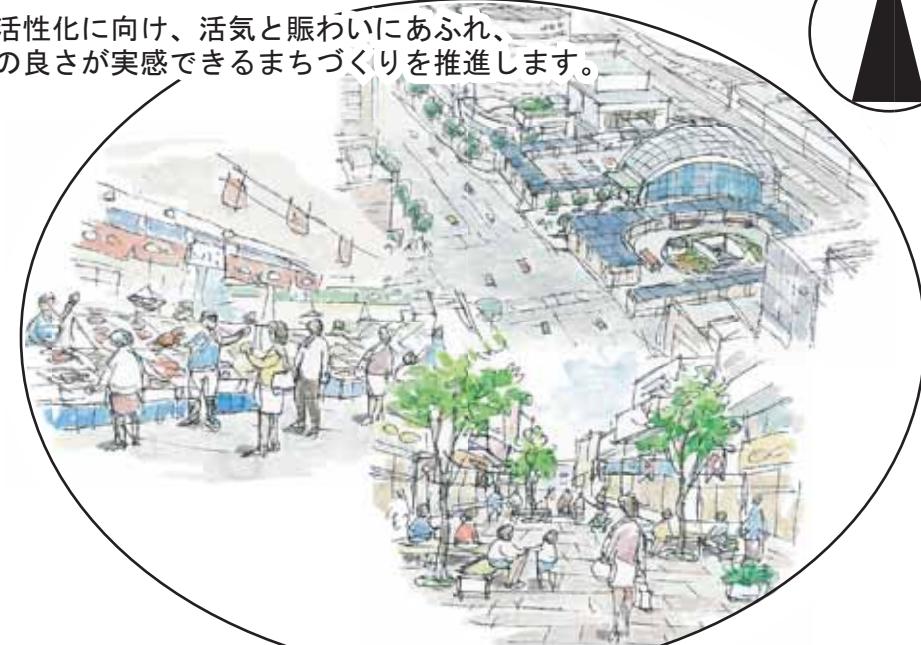
都心軸沿道の商業、業務機能集積とまちなか居住を含めた複合利用

金沢城や兼六園、惣構堀等の歴史遺産群の保全と無電柱化の推進

犀川、浅野川等の河川や内水の適切な管理と整備



バスに乗りやすく安心して歩けるまちづくりを進めます。
また、災害時に緊急自動車が入りやすく、みんなで人やまちを守りやすい安全・安心のまちづくりを推進します。



活気と賑わいあふれる都心空間にうるおいを添える「用水」「坂」「緑」の景色を大切にします。

身近な地域商業地の活性化

用水の開渠化と修景整備

1. 中央地域

2. 城東地域

(1) まちづくりのテーマ

『 小立野台地と河岸段丘の起伏ある地形を活かした
個性的な住宅地 』

犀川、浅野川の河岸段丘の縁量感ある斜面緑地の保全や寺院群や辰巳用水、坂道、広見など、城下町特有の都市構造を保全し、豊かな水や緑、歴史性に彩られた落ち着きのある住宅地の形成を図ります。

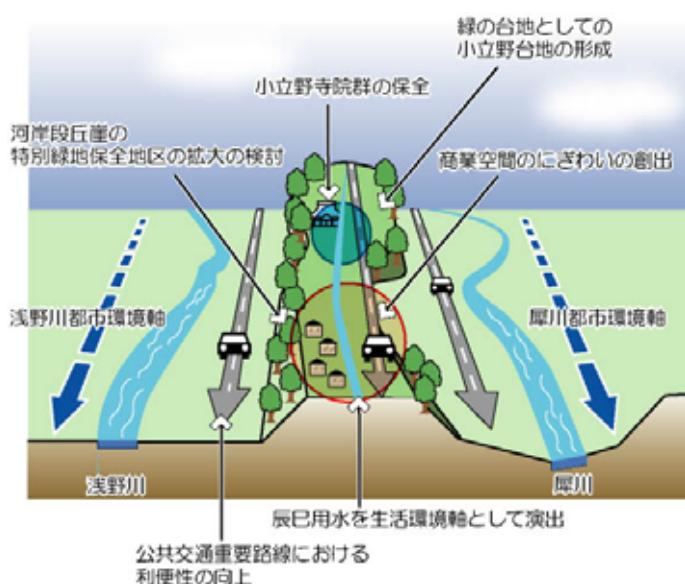
また、幹線道路沿道の商店街の活性化を図るとともに、その背後地においては、清閑で利便性に富んだ居住環境の保全、創出を目指します。

(2) 主なまちづくりの方針

地域を縁どる斜面緑地や歴史文化遺産群の保全、活用を図ります。
工学部跡地の適正な利用と兼六園、金沢大学医学部附属病院、石引商店街、小立野商店街を結ぶ歩行者ネットワークの充実を図ります。
近隣商店街の活性化により、利便性に富んだ住みよいまちづくりを図ります。

1) 土地利用の方針

- ・金沢大学工学部の跡地など、未利用地の計画的かつ有効的な利用を検討します。
- ・良好な居住環境の保全を図るとともに、空き家や空き地の適切な活用を誘導し、秩序ある住宅地の土地利用を図ります。
- ・近隣商店街の活性化や高齢者の生活を支える機能の充実等により、住みよい都市環境形成を図ります。
- ・犀川及び浅野川河岸段丘の斜面緑地の保全と小立野寺院群の保全を図ります。



【地域のイメージ】

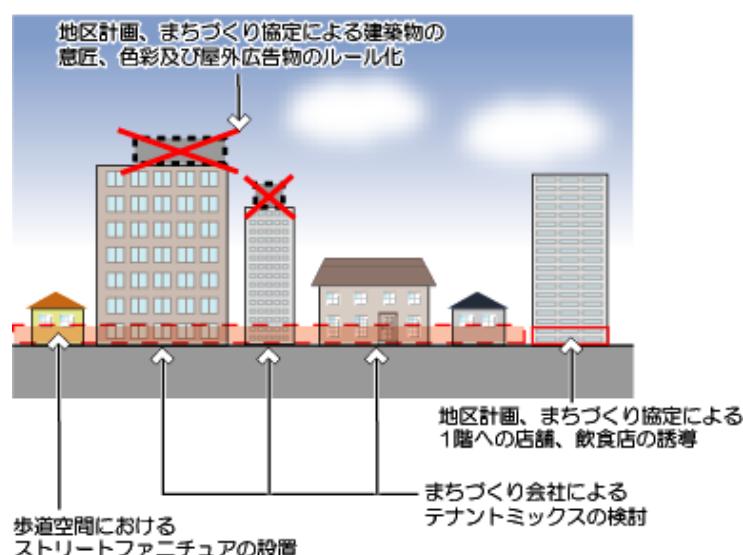
2) 地域基盤整備の方針

地域整備の方針

- ・ 良好な居住環境の保全、創出を図るため、地域住民との協働による地区計画やまちづくり協定の活用を図ります。
- ・ 石引商店街や小立野商店街を基盤に、周辺地域の日常的な買い物をまかなう商業機能の充実を図ります。
- ・ 斜面緑地について、特別緑地保全地区等の拡大を図ります。
- ・ 小立野台の斜面緑地や犀川、浅野川の河川敷空間については、引き続き風致地区として、その自然環境の保全に取り組みます。



【小立野通り】



【地域商業地のイメージ】

交通施設等整備の方針

- ・ 都心部へのアクセスにあたっては、公共交通利用が基本となることを目指し、公共交通重要路線を中心にバスレーン、パーク & ライドシステム、公共交通優先システム（P T P S）の導入を検討するなど、バス交通の定時性、速達性の確保を図ります。
- ・ ふらっとバスや路線バスの利便性向上について交通事業者と連携を図りながら検討するとともに、バス待ち環境（バス停、バス待ちスペース等）の整備等を図り、利用活性化を推進します。

- ・小立野寺院群の界隈において、各寺院をネットワークする、歩けるみち筋の整備に努めます。



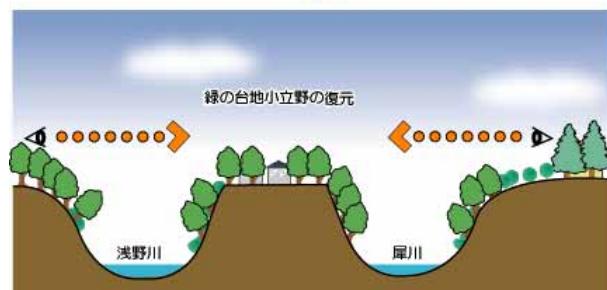
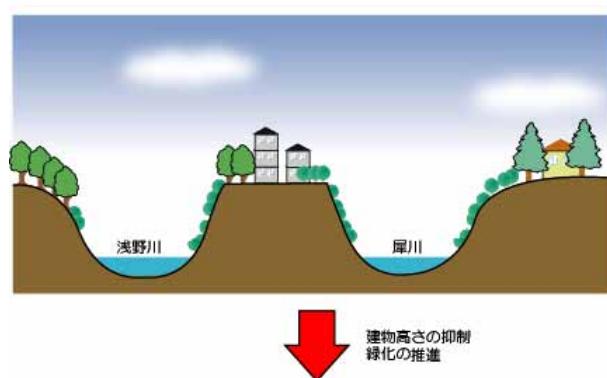
【歩ける歩行回廊】

公園緑地整備の方針

- ・小立野寺院群の境内地の叢林の保全や、身近な憩いの場として境内地の緑地や空間の活用を検討します。
- ・河岸段丘の斜面緑地の保全と河川、用水沿いの緑、寺社の叢林等をつなぐ緑のネットワークの形成を図ります。



【河岸段丘の斜面緑地】



【小立野台地の緑の復元】

3) 地域環境整備の方針

地域環境形成の方針

- ・犀川右岸及び浅野川左岸の河岸段丘斜面緑地について、特別緑地保全地区等の拡大を図ります。
- ・犀川、浅野川をはじめ、辰巳用水、旭用水等のうるおいのある水辺環境の保全、創出を図ります。
- ・辰巳用水を史跡指定し、積極的な保全を推進します。
- ・小立野寺院群や土清水塩硝蔵跡、鶴間坂や亀坂、天徳院前の広見など、城下町の面影を残す歴史的文化遺産群の積極的な保全、復元を推進します。
- ・天徳院等の寺社建築や地域内に点在する歴史的遺構の保存に努め、地域の歴史を伝える景観の保全、形成を図ります。



【水辺環境の保全】



【城下町の面影を残す天徳院】

安全・安心な地域づくりの方針

- ・木造住宅密集地など、防災上危険な地域において、各種制度を活用した基盤整備の推進や住宅の不燃化、耐震化を図ります。
- ・地域住民が確実に安全に避難できるよう、避難場所の整備、確保を図るとともに、高齢者や障害者等の利用に配慮し、バリアフリー化等に対応した避難場所の確保に努めます。
- ・浅野川左岸や犀川右岸の崖地において土砂災害防止対策を推進します。

『小立野台地と河岸段丘の起伏ある地形を活かした個性的な住宅地』



凡例(図面)

- 住宅専用地区
- 居住再生地区
- 自然環境共存地区
- 沿道複合地区
- 風致地区
- 外環状道路
- 中環状道路
- 公共交通重要路線

凡例(方針)

- 土地利用の方針
- 地域整備の方針
- 交通施設等整備の方針
- 公園緑地整備の方針
- 地域環境形成の方針
- 安全・安心な地域づくりの方針

都心部、医療機関、最寄りの商店街へ歩いて到達出来る便利で快適なまちづくりを推進します。

- ・小立野寺院群など城下町の面影を残す歴史的文化遺産の保全・復元
- ・辰巳用水、旭用水の保全
- ・小立野寺院群界隈における歩けるみち筋整備

金沢大学工学部跡地の有効的利用

近隣商店街の活性化

地区計画やまちづくり協定の推進による良好な居住環境の保全、創出

バス交通の定時制、速達性確保に向けた交通環境の充実

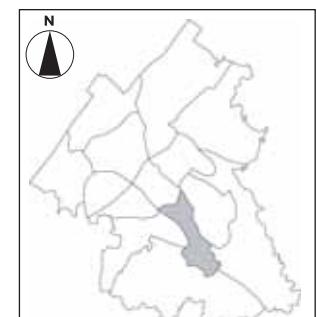
犀川や浅野川における崖地の土砂災害防止

犀川や浅野川河岸段丘の斜面緑地の保全

地域にやすらぎを与え、様々な思い出を作ってきた寺や境内や緑を活かし、落ち着きのあるまちなみの形成を推進します。



歩いて買い物が楽しめ、商店街が地域と共に発展し、賑わいと活気がみなぎるまちづくりを推進します。



2.城東地域

3. 犀川南地域

(1) まちづくりのテーマ

『寺町台に広がる伝統的まちなみと公共交通体系を
活かしたまち』

寺町寺院群やにし茶屋街、城下町の面影を残す遺産群の保全や、犀川の豊かな流れ、寺町段丘台地の斜面緑地の保全、活用により、伝統とうるおいに満ちた地域環境の形成を図ります。

また、交通結節点となるJR西金沢駅及び北陸鉄道野町駅の機能強化と公共交通との接続性向上を図るとともに、住宅地において、居住環境の向上を目指した基盤整備を推進し、安心して快適に暮らせるまちづくりを目指します。

(2) 主なまちづくりの方針

寺町寺院群やにし茶屋街、こまちなみ、坂道、用水、広見等の歴史文化遺産群を保全します。

JR西金沢駅及び北陸鉄道野町駅の交通結節機能の強化と公共交通との接続性向上を図ります。

伏見川、高橋川等の水辺環境を活かした都市環境の向上を図ります。
住宅地における居住環境並びに防災基盤整備を図ります。

1) 土地利用の方針

- ・寺町寺院群、にし茶屋街等の歴史的環境の保全を図るとともに、その周辺については、歴史、文化的環境に配慮した土地利用を図ります。
- ・住工混在地区においては、秩序ある土地利用へ誘導を図ります。
- ・均整のとれた高さの建築物が連なるまちなみ形成を誘導する土地利用を推進します。
- ・JR西金沢駅の交通結節点としての機能強化により、公共交通の活性化を誘導する土地利用を図ります。



【歴史文化遺産 にし茶屋街】

2) 地域基盤整備の方針

地域整備の方針

- ・住宅、商業施設、工場等の用途の混在を整序するため、用途地域の見直しや地区計画、まちづくり協定の導入等により、秩序ある市街地の形成を図ります。

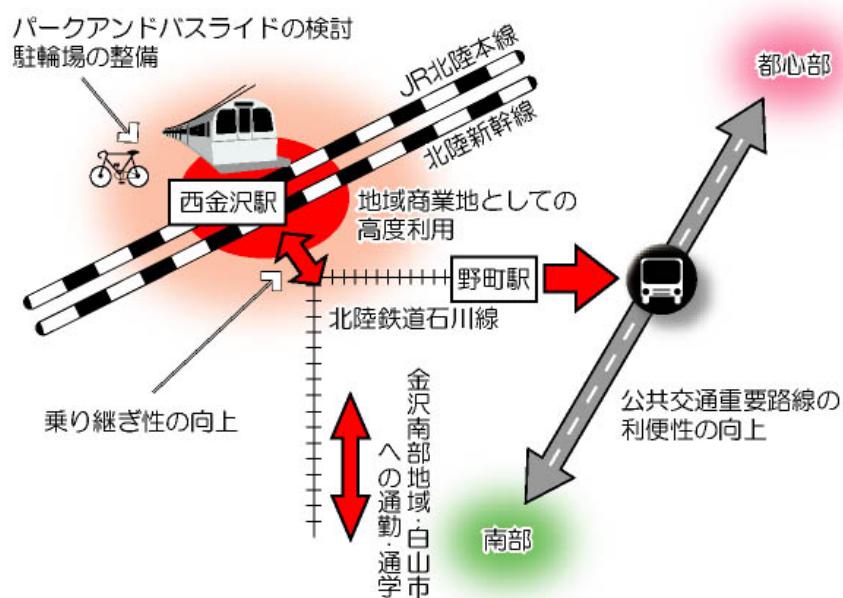
- ・高度地区の指定を推進し、あわせて地区計画、**まちづくり協定等**の活用により、建物の高さが揃った美しいまちなみの形成を図ります。
- ・JR西金沢駅周辺において、その拠点性、利便性を活かした土地利用への転換を検討します。
- ・犀川の河川敷空間については、引き続き風致地区として、その自然環境の保全に取り組みます。

交通施設等整備の方針

- ・JR西金沢駅において、東西を結ぶ自由通路や西口駅前広場整備、広場へのアクセス道路の整備を総合的に推進し、**石川線との乗り継ぎが円滑な交通結節点としての機能強化**を図ります。
- ・北陸鉄道野町駅において、バスとの乗り継ぎ連携をはじめとする利便性向上を図り、**公共交通の利用促進**を図ります。
- ・都心部へのアクセスにあたっては、公共交通利用が基本となることを目指し、パーク＆ライド駐車場の確保等による電車とバスの乗り換え利便性の向上や、公共交通重要路線を中心にバスレーン、公共交通優先システム（PTPS）の導入を検討するなど、バス交通の定時性、速達性の確保を図ります。



【現在のJR西金沢駅】



【公共交通の利便性を活用したまちづくり】

- ・ふらっとバスや路線バスの利便性向上について交通事業者と連携を図りながら検討するとともに、バス待ち環境（バス停、バス待ちスペース等）の整備等を図り、利用活性化を推進します。
- ・泉野々市線等の整備促進に努め、中環状道路や西金沢駅とのネットワークの形成を図ります。
- ・寺町寺院群の界限を中心に、面的な歩行回遊のネットワークの形成を図り、歩けるまちづくりを推進します。



【歩ける歩行回廊】

公園緑地整備の方針

- ・寺町寺院群の境内林や用水の緑等の歴史的由来を持つ緑を保全するとともに、これらと斜面緑地、河川緑地等をつなぐ緑のネットワークの形成を図ります。
- ・工場の敷地内緑化や商業、業務施設の屋上緑化、住宅の民有地緑化により、地域内の緑の増大を図ります。



【寺町寺院群】

3) 地域環境整備の方針

地域環境形成の方針

- ・犀川をはじめ、伏見川、高橋川、中村高畠用水、泉用水等のうるおいのある水辺環境の保全、創出を図ります。
- ・寺町段丘台地に広がる斜面緑地について、特別緑地保全地区等の拡大を検討するとともに、犀川沿いの河川緑地の保全を図ります。



【地域にうるおいを与える犀川】

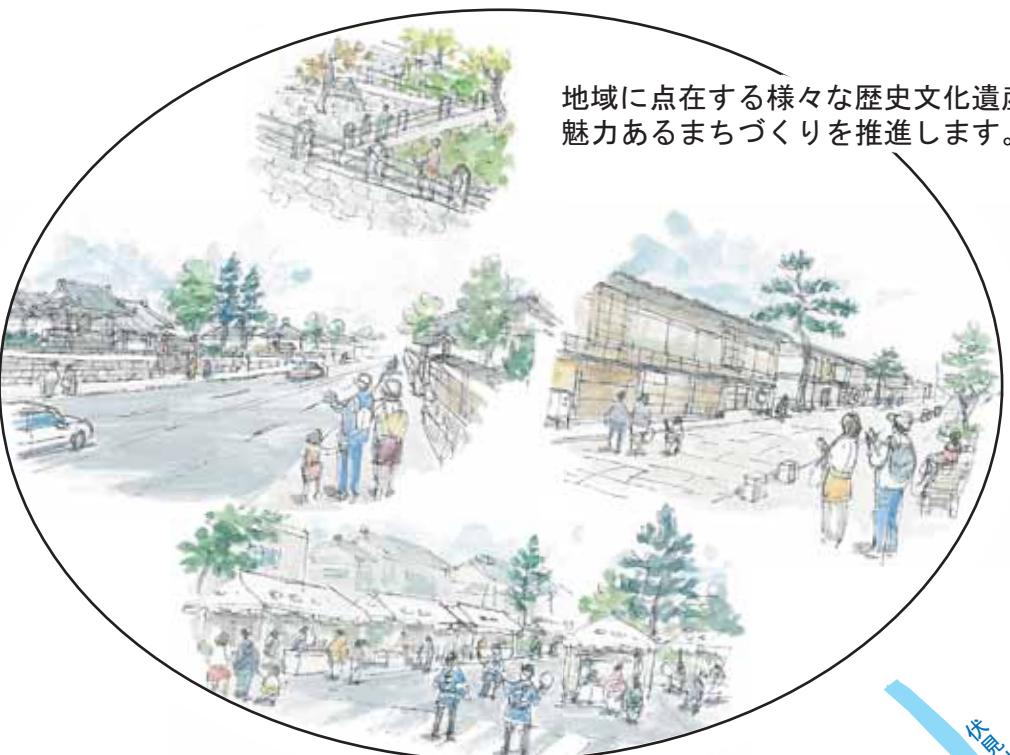
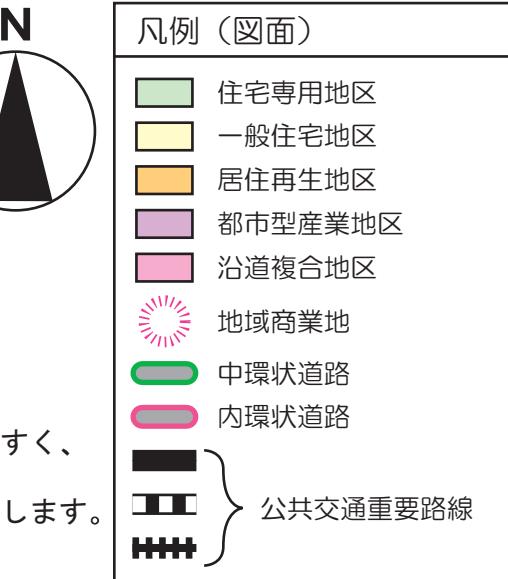
- ・寺町寺院群、にし茶屋街及びその周辺においては、各種条例を活用して伝統的まちなみと調和したまちづくりを図ります。
- ・世界遺産登録を目指し、寺町寺院群について伝統的建造物群保存地区の指定を検討するとともに、松月寺の大桜やにし茶屋街、旧蛤坂、泉寺町のこまちなみ区域、旧北国街道並びに旧鶴来街道沿いのまちなみ、蛤坂、W坂等の坂道、泉用水など、城下町の面影を残す遺産群の積極的な保全を図ります。
- ・歴史的風致の維持、向上や魅力的なまちなみの形成に向けて、無電柱化を推進します。
- ・西インター大通りにおいて、本市の玄関口にふさわしい質の高い沿道景観の形成を図ります。



安全・安心な地域づくりの方針

- ・木造住宅密集地など、防災上危険な地域において、各種制度を活用した基盤整備の推進や住宅の不燃化、耐震化を図ります。
- ・寺町寺院群をはじめ歴史的建築物や文化財等の耐震診断、耐震化を図ります。
- ・犀川河岸段丘の土砂災害危険箇所において、土砂災害防止対策を推進します。

『寺町台に広がる伝統的まちなみと公共交通体系を活かしたまち』



西インター大通りにおける玄関口にふさわしい沿道景観の形成



住工混在地区の秩序ある土地利用の誘導

寺町寺院群をはじめ歴史的建築物や文化財等の耐震化と保全

- 寺町寺院群、にし茶屋街の伝統的建造物群保存地区指定の検討
- 旧蛤坂や泉寺町のこまちなみ区域や泉用水等城下町の面影を残す遺産群の保全と無電柱化の推進

犀川河川段丘の土砂災害防止

犀川沿い河川緑地の保全

JR西金沢駅の交通結節点としての機能強化と公共交通活性化の誘導

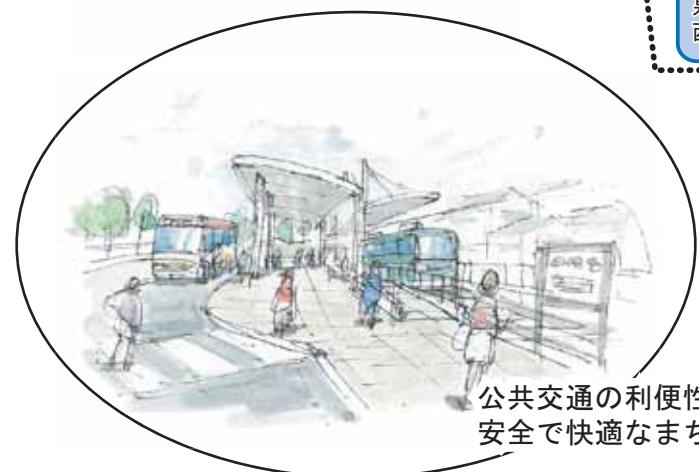
周辺地域の拠点性、利便性を活かした土地利用転換を検討

JR西金沢駅の東西を結ぶ自由通路や西口駅前広場等の整備

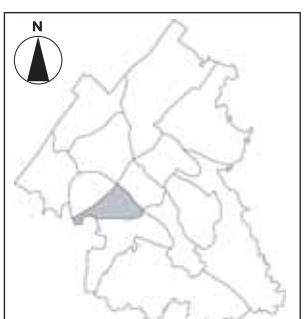
泉野々市線の整備による中環状道路、西金沢駅とのネットワーク形成

北陸鉄道野町駅とバスとの乗り継ぎ連携による利便性向上

犀川、伏見川、高橋川等うるおいのある水辺環境の保全・創出



金沢の風土が織りなす「水」と「緑」に親しみ、優れた自然環境を活かしたまちづくりを推進します。



3.犀川南地域

4. 城北地域

(1) まちづくりのテーマ

『卯辰山山麓に抱かれた伝統的まちなみと
近代的まちなみが調和するまち』

卯辰山のふもとに広がるひがし茶屋街や卯辰山山麓寺院群、浅野川の流れなど、金沢らしい情緒あるまちなみや景観の保全を図ります。

また、交通結節点であるJR東金沢駅周辺の基盤整備を進め、地域の玄関口としての機能強化と賑わい創出を図るほか、住宅地において、昔ながらのまちなみや住宅地の景観保全に配慮しつつ、居住環境や防災基盤の整備充実により、安全で安心して暮らせる環境づくりを目指します。

(2) 主なまちづくりの方針

ひがし茶屋街や卯辰山山麓寺院群等の歴史文化遺産の保全と卯辰山、浅野川のうるおいのある環境の保全を図ります。

JR東金沢駅の交通結節点としての機能強化と、公共交通との接続性の向上を図ります。

密集市街地においては、昔ながらのまちなみの保全に配慮しつつ、安全で快適な住宅地環境の形成を図ります。

1) 土地利用の方針

- ・卯辰山や浅野川を背景としたひがし茶屋街や卯辰山山麓寺院群、**御所ハツ塚山古墳群**等の歴史文化遺産の保全を図るとともに、主要幹線道路沿道や新市街地において、歴史、文化的環境と近代的環境が調和した土地利用を図ります。
- ・住宅地においては、緑豊かな自然環境を背景に、防災性や居住環境の向上を図ります。
- ・住工の用途混在地区では、秩序ある土地利用の誘導を図ります。



【歴史文化遺産 ひがし茶屋街】

2) 地域基盤整備の方針

地域整備の方針

- ・周辺の自然環境や歴史的資産を活かした住宅地の防災性及び居住環境の向上を住民と行政の協働により図ります。
- ・用途の混在を整序し、住宅地環境の向上を図るために、用途地域の見直しや地区計画、まちづくり協定の活用を図り、良好な市街地形成を図ります。

- ・JR東金沢駅周辺において、その拠点性及び利便性を活かした土地利用の誘導を図ります。
- ・卯辰山丘陵及び東部丘陵は引き続き風致地区として、その自然環境の保全に取り組みます。

交通施設等整備の方針

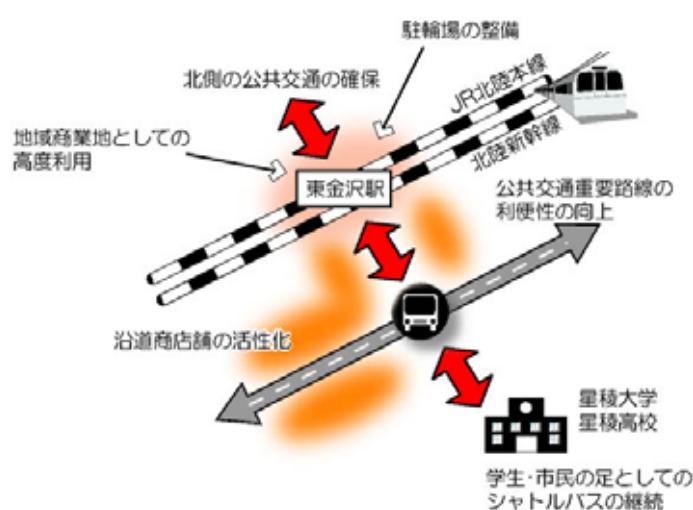
- ・JR東金沢駅において、バス及びタクシー乗降場、駐輪場、送迎用駐車場の整備を図ります。
- ・地域内の円滑な交通流動を確立するため、観光客用の駐車場整備や通行車両の走行速度の抑制など、地域にふさわしいハード、ソフトの交通基盤整備を図ります。
- ・都心部へのアクセスにあたっては、公共交通利用が基本となることを目指し、パーク＆ライド駐車場の確保等による電車とバスの乗り換え利便性の向上や、公共交通重要路線を中心にバスレーン、公共交通優先システム（PTPS）の導入を検討するなど、バス交通の定時性、速達性の確保を図ります。
- ・ふらっとバスや路線バスの利便性向上について交通事業者と連携を図りながら検討するとともに、バス待ち環境（バス停、バス待ちスペース等）の整備等を図り、利用活性化を推進します。
- ・ひがし茶屋街及び卯辰山山麓寺院群周辺において、舗装改良やまちかどベンチの設置、観光案内板等を整備し、歩行回廊の形成に努めます。



【現在のJR東金沢駅】



【歩ける歩行回廊】



【公共交通の利便性を活用したまちづくり】

公園緑地整備の方針

- ・卯辰山公園の整備により、回遊性や眺望の向上を推進します。
- ・東部丘陵地や卯辰山山麓寺院群の境内地の叢林等の保全を図ります。
- ・市街地の借景となる卯辰山丘陵の斜面緑地について、風致地区として引き続き良好な自然環境を保全に取り組みます。

3) 地域環境整備の方針

地域環境形成の方針

- ・世界遺産登録を目指し、東山ひがし重要伝統的建造物群保存地区の保全に引き続き取り組むとともに、卯辰山山麓寺院群の伝統的建造物群保存地区の指定を目指します。
- ・旧観音町、旧御歩町のこまちなみ区域をはじめ、観音坂、子来坂の坂道や旧北国街道のまちなみ、地区内に多く点在する金澤町家など、城下町の面影を残す歴史的文化遺産群の積極的な保全、創出を図ります。
- ・歴史的風致の維持、向上や魅力的なまちなみの形成に向けて、無電柱化を推進します。
- ・東の玄関口となる東インター大通りの良好な沿道景観形成を図ります。
- ・浅野川、**金腐川**、小坂用水、小橋用水等のうるおいのある水辺環境の創出を図ります。



【卯辰山山麓寺院群のまちなみ】



【地域にうるおいを与える浅野川】



【旧街道沿いのまちなみ整備】

安全・安心な地域づくりの方針

- ・木造住宅密集地など、防災上危険な地区においては、住民と行政の協働のもと、各種制度を活用した基盤整備や住宅の不燃化、耐震化を図ります。
- ・卯辰山寺院群をはじめ歴史的建築物や文化財等の災害による喪失を防止するため、耐震診断、耐震化を図ります。
- ・卯辰山丘陵の土砂災害危険箇所において、土砂災害防止対策を推進します。
- ・水害に強いまちづくりのため、浅野川、**金腐川**等の河川や内水を適切に管理し、必要な整備を図ります。

『卯辰山山麓に抱かれた伝統的まちなみと近代的まちなみが調和するまち』

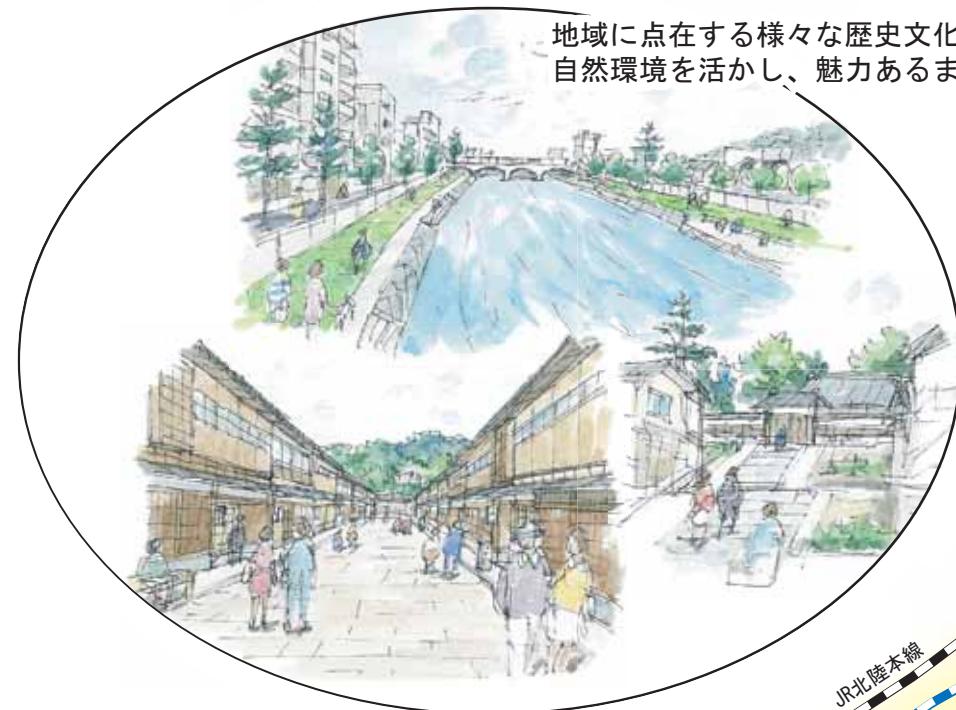


凡例(図面)	
■ 住宅専用地区	
■ 一般住宅地区	
■ 居住再生地区	
■ 自然環境共存地区	
■ 沿道複合地区	
■ 主な公園緑地	
■ 風致地区	
■ 地域商業地	
■ 外環状道路	
■ 中環状道路	
■ 内環状道路	
■ } 公共交通重要路線	

凡例(方針)	
■ 土地利用の方針	
■ 地域整備の方針	
■ 交通施設等整備の方針	
■ 公園緑地整備の方針	
■ 地域環境形成の方針	
■ 安全・安心な地域づくりの方針	

主要幹線道路沿道と新市街地の歴史・文化的環境と近代的環境が調和した土地利用

用途の混在を整除し、良好な住宅地環境の向上



地域に点在する様々な歴史文化遺産や優れた自然環境を活かし、魅力あるまちづくりを推進します。

東インター大通りにおける玄関口にふさわしい沿道景観の形成

卯辰山山麓寺院群の伝統的建造物群保存地区指定の検討

ひがし茶屋街、卯辰山山麓寺院群周辺の舗装改良整備などによる歩行回廊の形成

旧観音町、旧御歩町のこまちなみ区域など城下町の面影を残す歴史的遺産群の保全・創出と無電柱化の推進

卯辰山の斜面緑地の保全

用水などのうるおいのある水辺環境の保全・創出

浅野川等の河川や内水の適切な管理と整備

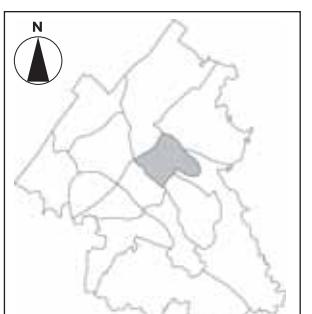
JR東金沢駅の交通結節点としての機能強化と公共交通活性化

パーク＆ライド駐車場の設置による公共交通の利用促進

JR東金沢駅周辺の拠点性及び利便性を活かした土地利用

公共交通の利便性が優れ、安全で快適なまちづくりを推進します。

災害時に、緊急自動車が入りやすく、みんなで人やまちを守りやすい安全・安心のまちづくりを推進します。



5. 東部地域

(1) まちづくりのテーマ

『緑豊かで若さと活気あふれる大学の門前町』

卯辰山丘陵並びに東部丘陵の前面に広がる大学の門前町として、賑わいのあるショッピングゾーンを核に、生活の利便性と快適性を備えた新しい市街地形成を図ります。

また、金沢外環状道路山側幹線沿道において、適正な土地利用を図るとともに、快適な交通環境の確立や丘陵地の緑、浅野川の流れ等を生活空間に取り込み、うるおい豊かで質の高い都市型居住環境の形成を図ります。

(2) 主なまちづくりの方針

丘陵の斜面緑地の保全と緑道や街路樹等による緑のネットワーク形成を図ります。

秩序ある土地利用の誘導と、里山や浅野川の自然空間を活用したうるおいと緑豊かな住環境の形成を図ります。

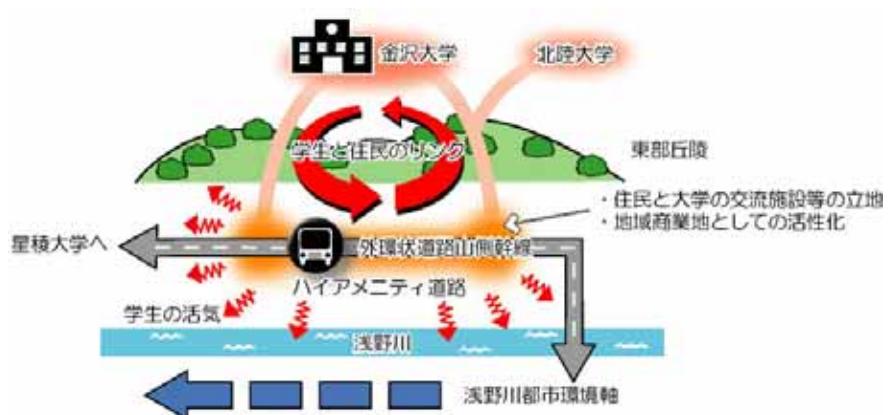
広域的な交通機能の強化と、その機能を活かした公共交通による快適に移動できる交通ネットワークの形成を図ります。

1) 土地利用の方針

- ・金沢外環状道路山側幹線沿いにおいて、日常的な生活サービスを享受できる土地利用を展開し、その他背後地は、緑豊かなゆとりある文教地区としての秩序ある住宅地の形成を図ります。
- ・高度経済成長期に開発された住宅地の居住者の高齢化や集落地の人口減少等に対して、活力を維持する観点から新たな住宅施策を検討します。
- ・市街地の背景となる卯辰山丘陵や東部丘陵の自然環境の保全を推進します。



【緑豊かな住宅地（太陽ヶ丘住宅地）】

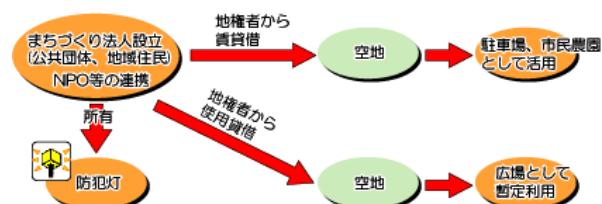


【大学の門前町の形成イメージ】

2) 地域基盤整備の方針

地域整備の方針

- ・金沢外環状道路山側幹線沿道において、用途地域や地区計画等の活用により、日常的な生活サービス施設を誘導し、若者や地域住民が集う賑わいのある市街地の形成を図ります。
- ・地域住民との協働による地区計画やまちづくり協定等の導入により、大学門前町として質の高い秩序ある居住空間の形成を図ります。
- ・高度経済成長期に開発された住宅地においては、円滑な世代交代等の施策を検討し、集落地においては、地区計画制度を活用するなど、適正なまちづくりの誘導を図ります。
- ・卯辰山丘陵及び東部丘陵は、引き続き風致地区として、その自然環境の保全に取り組みます。



【高度経済成長期に開発された住宅地の整備イメージ】

交通施設等整備の方針

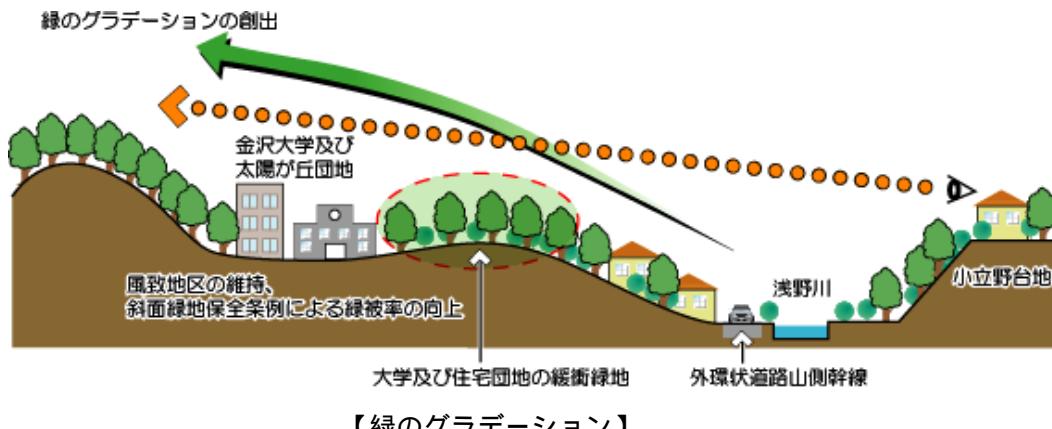
- ・金沢外環状道路山側幹線の鈴見交差点立体化や金沢福光連絡道路の整備を図ります。
- ・路線バスの利便性向上について交通事業者と連携を図りながら検討し、利用活性化を推進します。
- ・まちなかと大学を結ぶ「金沢バストリガード方式」の活用範囲の拡大やパーク & ライドシステムの導入を検討するなど、公共交通の利用促進を図ります。
- ・集落内の狭隘道路の整備充実を図ります。



【金沢外環状道路】

公園緑地整備の方針

- 市街地の借景となる奥卯辰山の斜面緑地、東部丘陵の緑の保全に取り組み、浅野川沿いの緑の遊歩道、幹線道路の街路樹等をつなぐ水と緑のネットワークの形成を図ります。



3) 地域環境整備の方針

地域環境形成の方針

- 金沢外環状道路山側幹線沿いにおける秩序ある沿道景観の形成を推進します。
- 太陽ヶ丘住宅地のメタセコイヤの並木など地域のシンボル的な景観の保全、育成を図ります。
- 浅野川の河川景観のほか、ホタルや水生生物が生息する金浦用水、**旭用水**、角間川の良好な水辺環境の保全、創出を図ります。

安全・安心な地域づくりの方針

- 東部地域の土砂災害危険箇所において、土砂災害防止対策を推進します。



『緑豊かで若さと活気あふれる大学の門前町』

凡例(図面)	
	住宅専用地区
	自然環境共存地区
	沿道複合地区
	主な公園緑地
	風致地区
	地域商業地
	外環状道路

凡例(方針)	
	土地利用の方針
	地域整備の方針
	交通施設等整備の方針
	公園緑地整備の方針
	地域環境形成の方針
	安全・安心な地域づくりの方針

奥卯辰山や東部丘陵、浅野川などの緑をつなぐ水と緑のネットワークの形成

地区計画やまちづくり協定などによる大学門前町として質の高い秩序ある空間の形成

まちなかと大学を結ぶ「金沢バストリガー方式」の活用範囲の拡大による公共交通の活性化

優れた自然環境の中で一定の建築ルールのもとに、優れたまちなみ景観を誘導し、快適な住環境形成を推進します。

N



金沢外環状道路(山側幹線)の交差点立体化の整備

東部地域の土砂災害防止対策の推進

若者や地域住民が集う賑わいのある市街地の形成

外環状道路(山側幹線)沿いの秩序ある沿道景観の形成

金沢福光連絡道路の整備促進

市街地の借景となる奥卯辰山の斜面緑地や東部丘陵の緑の保全

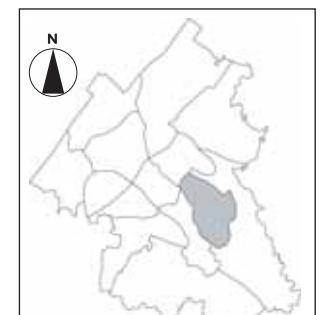
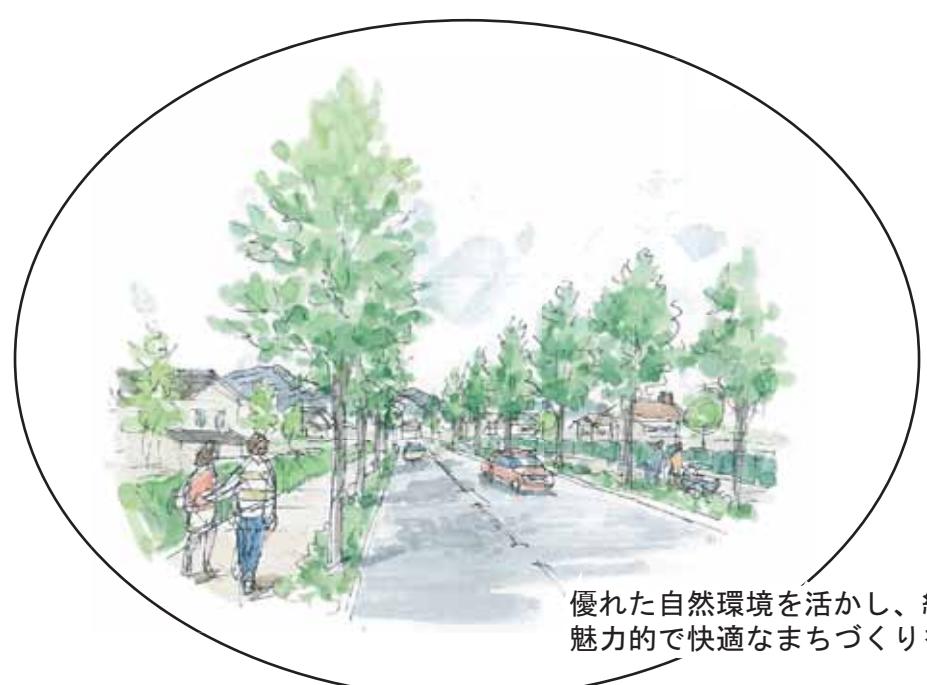
東部丘陵の急傾斜地崩壊危険箇所などの土砂災害防止の推進

河川や用水などの良好な水辺環境の保全、創出

メタセコイアの並木など地域のシンボル的景観の保全

優れた自然環境を活かし、緑のネットワーク形成を図るなど魅力的で快適なまちづくりを推進します。

交通アクセスと公共交通の利便性に優れた安全で快適なまちづくりを推進します。



6. 南部地域

(1) まちづくりのテーマ

『緑が映える丘陵地を背景とした成熟した住宅地』

南部丘陵のふもとに広がるゆとりあるおいのある居住環境を保全し、緑に包まれた安心、安全で住みよい住宅地としての質的向上を図ります。

また、北陸鉄道額住宅駅のバスの接続性の向上やパーク＆ライドシステムの導入、バス運行の適切な水準の確保等により、便利で快適な移動環境を創出し、市街地郊外の良好な居住環境を有する成熟した住宅地の形成を目指します。

また、地域の財産として、野田山の歴史的資源の保全、活用を図ります。

(2) 主なまちづくりの方針

地域商業地の活性化を推進し、快適な買い物環境の創出と利便性の良い住宅地の形成を図ります。

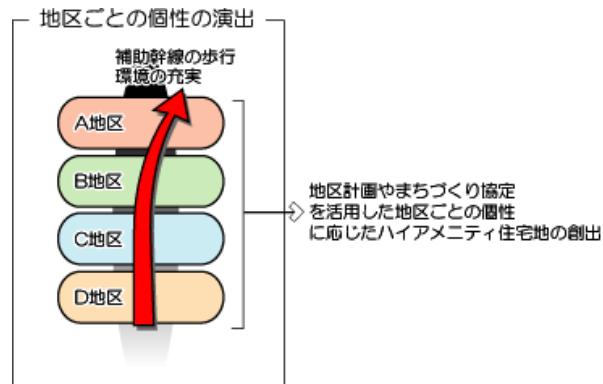
都心部方面へのアクセスにおいて、公共交通への利用転換を図ります。

伏見川、高橋川のうるおいのある水辺環境の保全、活用を図ります。

市街地の後背地となる南部丘陵地を保全します。

1) 土地利用の方針

- ・南部丘陵の緑を背景に、快適でゆとりある暮らしを享受できる住宅地の形成を図ります。
- ・既存商店街の活性化や生活利便施設の充実により、利便性に富むまちづくりを目指します。



2) 地域基盤整備の方針

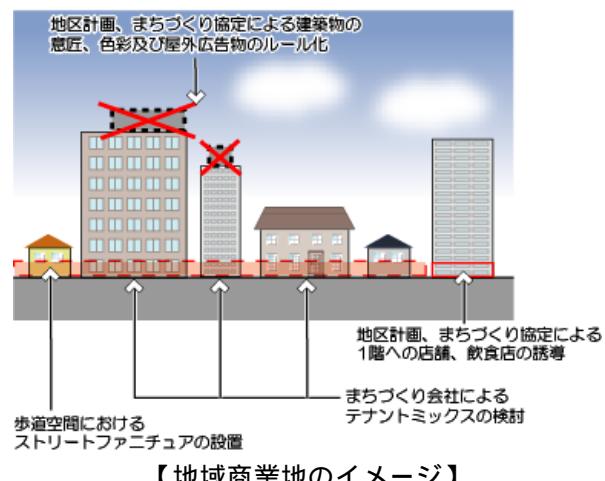
地域整備の方針

- ・良好な居住環境の保全、創出を図るために、地域住民との協働による地区計画やまちづくり協定の活用により、きめ細かなまちづくりの推進を図ります。



【良好な居住環境の推進】

- ・額、円光寺等の地域商業地において、地域住民の日常的な買い物をまかなく商業機能の強化を図り、利便性に富み親しみのある地域商業地の形成を目指します。
- ・南部丘陵は、引き続き風致地区として、その自然環境の保全に取り組みます。

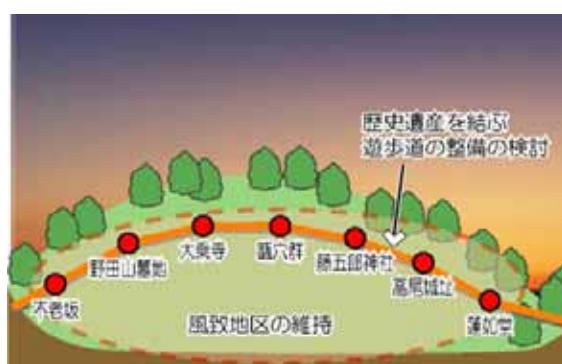


交通施設等整備の方針

- ・北陸鉄道額住宅駅前において、バスとの乗り継ぎ連携を円滑にし、公共交通の利便性向上を検討します。
- ・都心部へのアクセスにあたっては、公共交通利用が基本となることを目指し、パーク & ライド駐車場の設置拡大及び利用促進を検討するとともに、公共交通重要路線を中心にバスレーン、公共交通優先システム（P T P S）の導入を検討するなど、バス交通の定時性、速達性の確保を図ります。
- ・路線バスの利便性向上について交通事業者と連携を図りながら検討し、利用活性化を推進します。

公園緑地整備の方針

- ・大乗寺丘陵総合公園において、ツツジ園の植栽など、公園施設の整備充実を図ります。
- ・金沢南総合運動公園の施設や設備の適切な管理に努めるとともに、周辺においてフラワーロードの拡充を図ります。



【夕日が眺望できる南部丘陵】

3) 地域環境整備の方針

地域環境形成の方針

- ・南部丘陵の緑量感豊かな環境について、引き続き風致地区として保全していきます。
- ・野田山丘陵や四十万、見晴し台からの市街地の眺望景観の保全を図るとともに、良好な視点場として見晴し台の整備を図ります。
- ・野田山の加賀藩主前田家墓所や加賀八家墓所、伏見川の甌穴群、不老坂、長坂用水等の史跡、文化遺産や大乗寺仏殿、高尾城址、藤五郎神社、蓮如堂等の由緒ある神社仏閣を活かした遊歩道について検討します。
- ・ホタルが生息する七瀬川や長坂用水のせせらぎ、伏見川、高橋川の水辺空間など、身近にある良好な水辺環境の保全、活用を図ります。



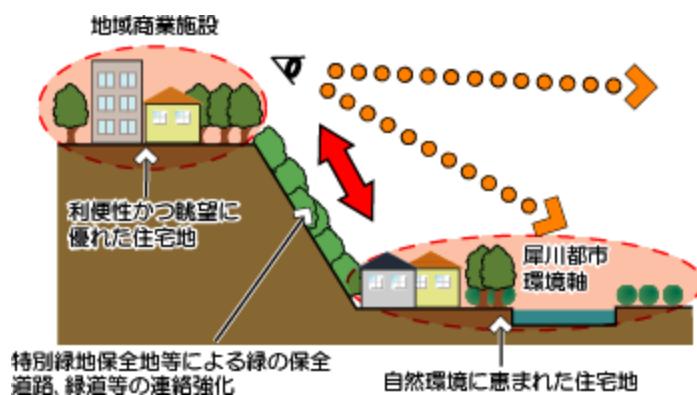
【見晴らし良好な野田山丘陵】



【野田山の加賀藩主前田家墓所】



【伏見川、高橋川のうるおいある水辺空間】

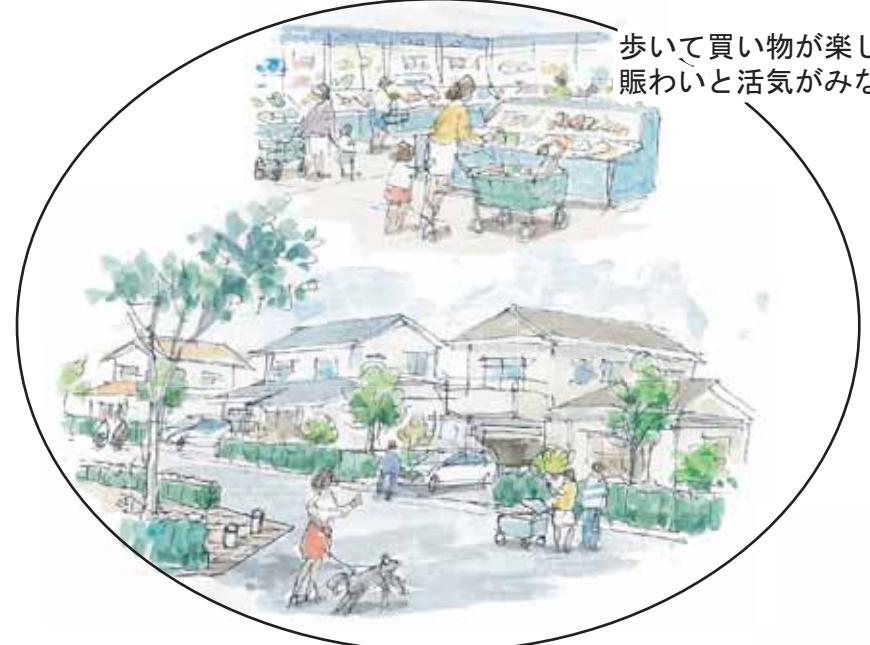


【河岸段丘を活かした住宅地】

安全・安心な地域づくりの方針

- ・南部地域の土砂災害危険箇所において、土砂災害防止対策を推進するとともに、斜面沿いの住宅の重点的な防災対策を推進します。
- ・水害被害を防止するため、高橋川、**碇川**等の河川改修整備を図ります。

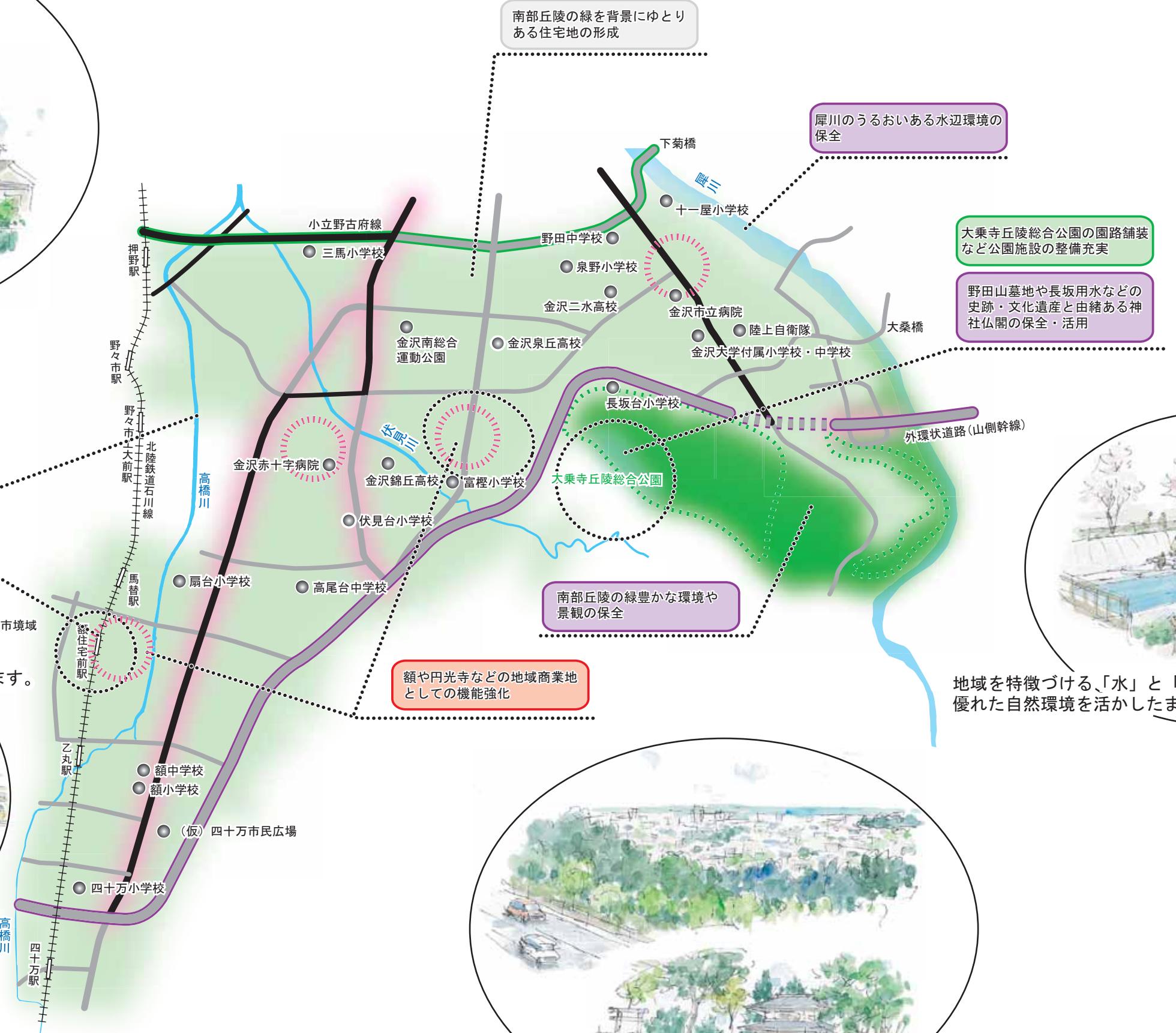
『緑が映える丘陵地を背景とした成熟した住宅地』



歩いて買い物が楽しめ、商店街が地域と共に発展し、賑わいと活気がみなぎるまちづくりを推進します。



公共交通の利便性が優れ、安全で快適なまちづくりを推進します。

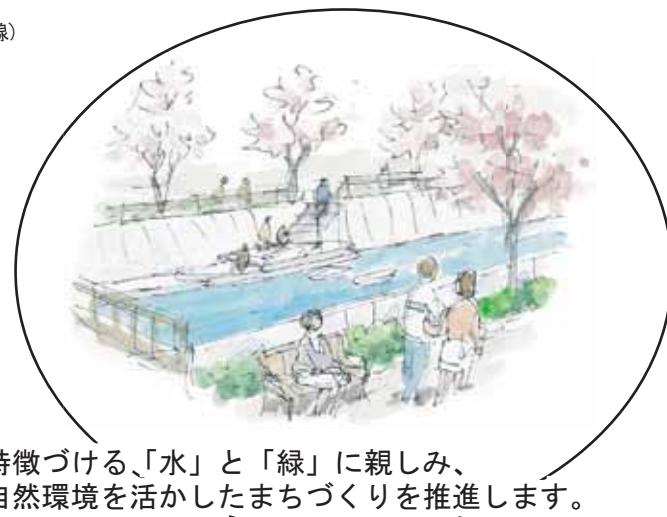


市街地背後の借景である南部丘陵の貴重な緑を保全します。

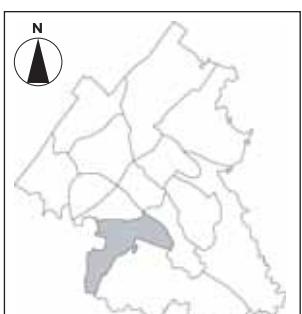


凡例(図面)	
■	住宅専用地区
■	自然環境共存地区
■	沿道複合地区
■	主な公園緑地
■	風致地区
■	地域商業地
■	外環状道路
■	中環状道路
■	公共交通重要路線

凡例(方針)	
■	土地利用の方針
■	地域整備の方針
■	交通施設等整備の方針
■	公園緑地整備の方針
■	地域環境形成の方針
■	安全・安心な地域づくりの方針



地域を特徴づける、「水」と「緑」に親しみ、優れた自然環境を活かしたまちづくりを推進します。



7. 東部丘陵地域

(1) まちづくりのテーマ

『里山の自然と共生し、湯涌温泉を核とした癒しの空間』

浅野川上流の山間地の豊かな自然環境を保全するとともに、湯涌温泉や医王山並びに戸室山周辺の自然レクリエーション施設について、自然とふれあいながらレクリエーションが楽しめるゾーンとしての機能強化を図り、地域の活性化と交流を図ります。

また、中山間集落において、定住人口やコミュニティの維持を図る土地利用制度の適切な運用や山間地ネットワーク道路の整備等を推進し、安全、快適な定住基盤の確保を図ります。

(2) 主なまちづくりの方針

山間地の樹林帯や溪流等の豊かで美しい自然環境を保全します。
湯涌温泉や既存レクリエーション施設の機能強化を図り、交流活動の推進による地域の活性化を図ります。
中山間集落の定住基盤の整備充実を図り、人口の流出を抑制し、活力ある集落の創出を目指します。

1) 土地利用の方針

- ・緑豊かな森林や浅野川の清流など、優れた自然環境を保全するとともに、これらとふれあうことのできる空間の創出を図ります。
- ・市街化調整区域内の集落等においては、自然環境と調和した土地利用を図ります。
- ・湯涌温泉街のさらなる活性化を図ります。



【集落地の適正なまちづくりへの誘導】

2) 地域基盤整備の方針

地域整備の方針

- ・湯涌温泉街の活性化を目指し、そぞろ歩きしたくなるまちなみ整備や景観形成、温泉ゲートゾーンの整備充実を図り、金沢の奥座敷として情緒ある温泉街の創出を目指します。
- ・中山間地域の日常生活を支える地域づくりを検討します。

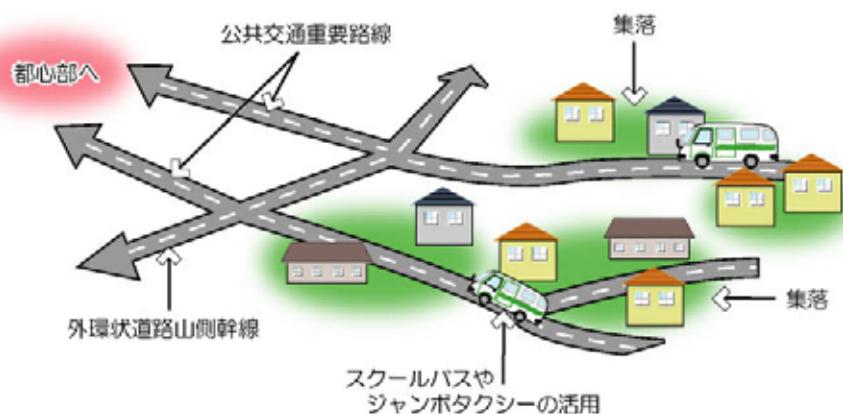


【湯涌温泉街】

- ・市街化調整区域内の集落においては、定住人口やコミュニティ維持を図るため、地区計画制度を活用するなど、適正なまちづくりの誘導を図ります。
- ・東部丘陵は、引き続き風致地区として、その自然環境の保全に取り組みます。

交通施設等整備の方針

- ・金沢福光連絡道路の整備を促進し、富山方面とのアクセス強化を図ります。
- ・市街地と本地域を結ぶ幹線道路や山間地ネットワーク道路の整備、集落間を結ぶ連絡道路の整備充実を図ります。
- ・路線バスの利便性向上について交通事業者と連携を図りながら検討し、利用活性化を推進します。
- ・**利用されやすい公共交通のあり方について地域住民と協働で考え、スクールバスやジャンボタクシーなどの活用等も検討しながら、中山間地域におけるモビリティ確保に努めます。**



公園緑地整備の方針

- ・戸室ビオトープやキゴ山ふれあいの里等の自然レクリエーション環境の充実と活用を図り、自然とふれあう機会の拡充を推進していきます。
- ・旧江戸村跡地、白雲楼ホテル跡地、玉泉湖周辺を活用した（仮称）湯涌散策園の整備を推進し、湯涌温泉との回遊性を図り、魅力ある施設とします。



【金沢湯涌創作の森】



【旧江戸村移転地】

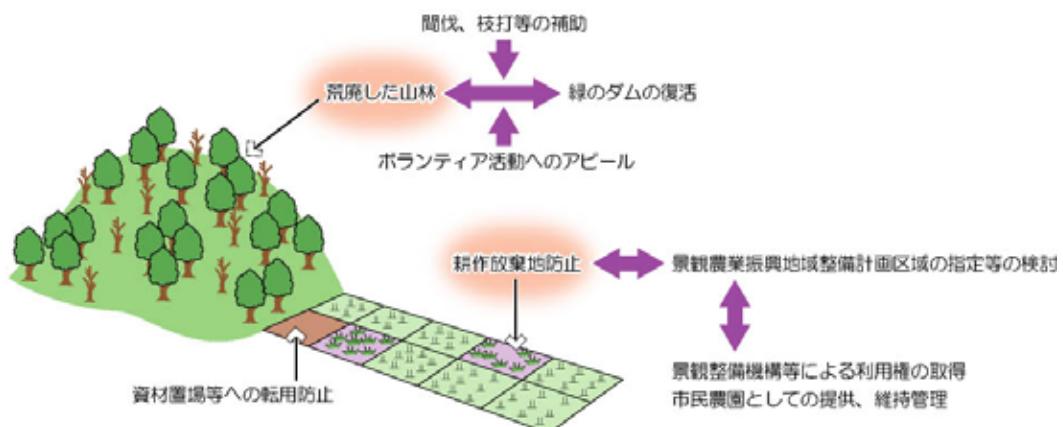
3) 地域環境整備の方針

地域環境形成の方針

- ・市街地背後から連なる緑豊かな丘陵地景観の保全と、浅野川のうるおいある河川景観の保全を図ります。
- ・戸室石切丁場等の歴史的資産の保全や、二俣地区に伝わる紙すきの伝統文化や落ち着いた佇まいの集落景観の保全、形成を図ります。
- ・地域内を流れる浅野川や田島川等の水辺の生態系の回復を図り、良好な水辺環境の形成を図ります。
- ・医王のササユリ群生等の希少植物の生育地やミズナラ、ブナ等の天然林の保全をはじめ、豊かな自然環境が残る里山の環境保全を図ります。



【里山の環境保全】



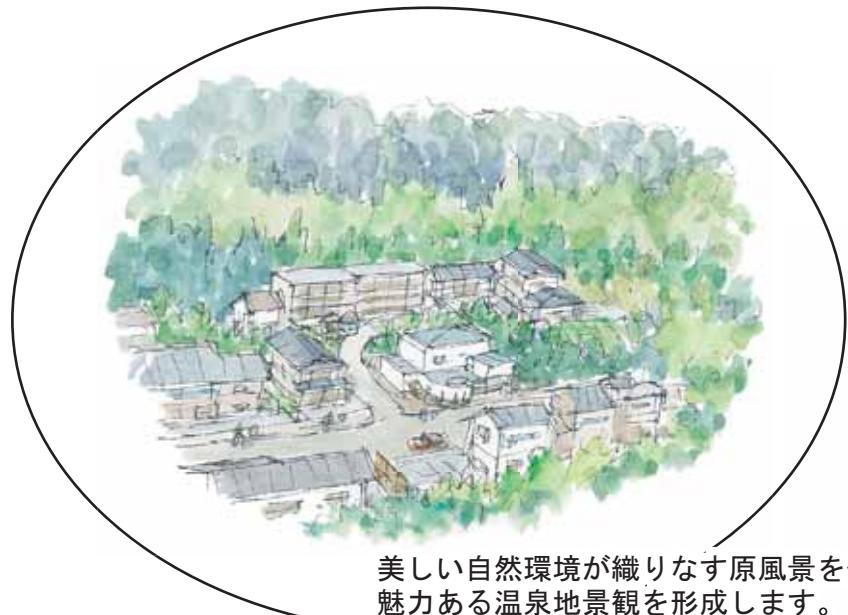
【荒廃した山林と耕作放棄地の対応】

安全・安心な地域づくりの方針

- ・災害発生時における山間集落の孤立化を防止するため、道路基盤の整備並びに山間地ネットワーク道路の形成を図ります。
- ・中山間集落の防災性の向上を図るため、安全な避難場所の確保を図るとともに、情報手段の整備充実を推進します。
- ・浅野川上流地域において、砂防施設工事等による土砂災害防止対策を図ります。
- ・水害に強いまちづくりのため、浅野川等の河川や内水を適切に管理し、必要な整備を図ります。

『里山の自然と共生し、湯涌温泉を核とした癒しの空間』

凡例(図面)
集落地区
自然環境共存地区
凡例(方針)
土地利用の方針
地域整備の方針
交通施設等整備の方針
公園緑地整備の方針
地域環境形成の方針
安全・安心な地域づくりの方針



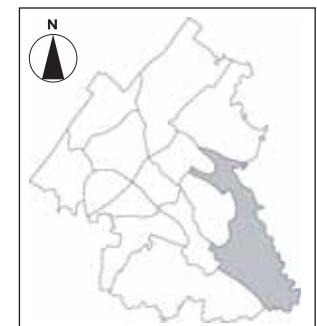
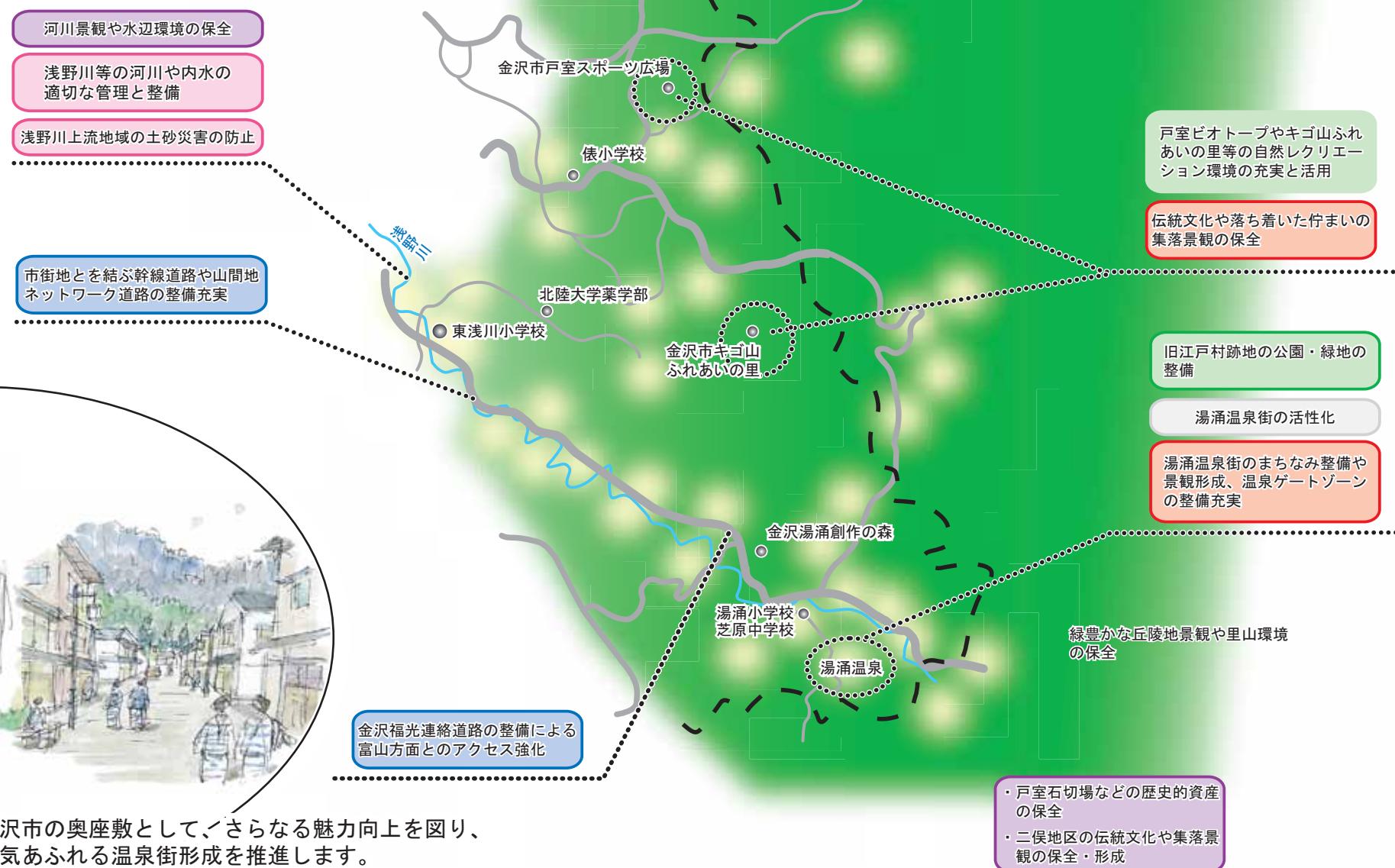
美しい自然環境が織りなす原風景を保全し、魅力ある温泉地景観を形成します。



美しい自然環境の中で、市街地や公共公益施設との連絡も容易な交通基盤や情報通信施設整備を進めます。また、災害時に緊急自動車が入りやすく、みんなで人やまちを守りやすい安全・安心のまちづくりを推進します。



金沢市の奥座敷として、さらなる魅力向上を図り、活気あふれる温泉街形成を推進します。



8. 南部丘陵地域

(1) まちづくりのテーマ

『人と自然が融合した緑豊かな里山』

犀川上流の山間地の豊かな自然環境を保全するとともに、自然学習や交流の場としての活用並びに受け入れ態勢の整備を図ります。

また、中山間集落において、定住人口やコミュニティの維持を図る土地利用制度の適切な運用や山間地ネットワーク道路の整備等を推進し、安全、快適な定住基盤の確保を図ります。

(2) 主なまちづくりの方針

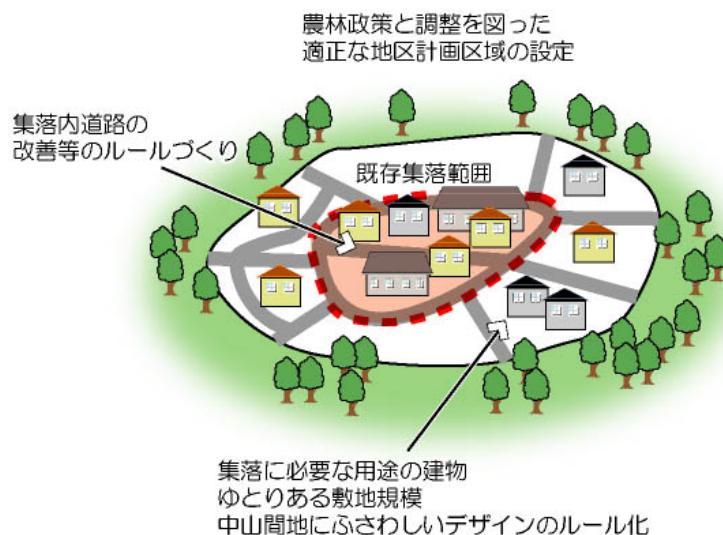
山間地の樹林帯や渓流等の豊かで美しい自然環境を保全します。
自然学習の場としての活用やまちとの交流のしきけづくりを検討します。
定住基盤の整備充実による中山間集落の活性化を図ります。

1) 土地利用の方針

- ・深い緑に囲まれ、清らかな犀川の流れや四季折々の田園風景が美しい里山の自然環境を保全します。
- ・市街化調整区域内の集落等においては、自然環境と調和した土地利用を図ります。



【美しい里山の保全】



【集落地の適正なまちづくりへの誘導】

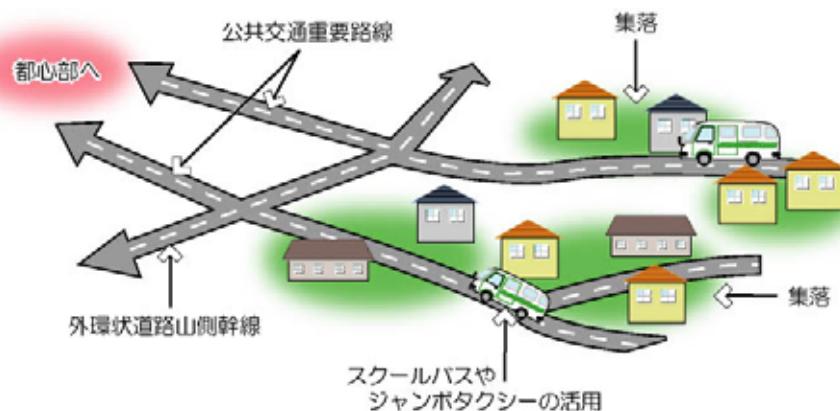
2) 地域基盤整備の方針

地域整備の方針

- ・中山間地域の日常生活を支える地域づくりを検討します。
- ・市街化調整区域内の集落においては、定住人口やコミュニティ維持を図るため、地区計画制度を活用するなど、適正なまちづくりの誘導を図ります。
- ・南部丘陵は、引き続き風致地区として、その自然環境の保全に取り組みます。

交通施設等整備の方針

- ・市街地と本地域を結ぶ幹線道路や集落間を結ぶ連絡道路の整備を推進し、山間地道路ネットワークの形成を図ります。
- ・路線バスの利便性向上について交通事業者と連携を図りながら検討し、利用活性化を推進します。
- ・**利用されやすい公共交通のあり方について地域住民と協働で考え、スクールバスやジャンボタクシーなどの活用等も検討しながら、中山間地域におけるモビリティ確保に努めます。**



【公共交通のネットワーク】

公園緑地整備の方針

- ・坪野キャンプ場や内川スポーツ広場、平栗いこいの森等のレクリエーション施設について、市民ニーズに対応した施設の充実に努めるとともに、利用促進を図り、自然とふれあう機会の拡充を推進していきます。



【内川スポーツ広場】

3) 地域環境整備の方針

地域環境形成の方針

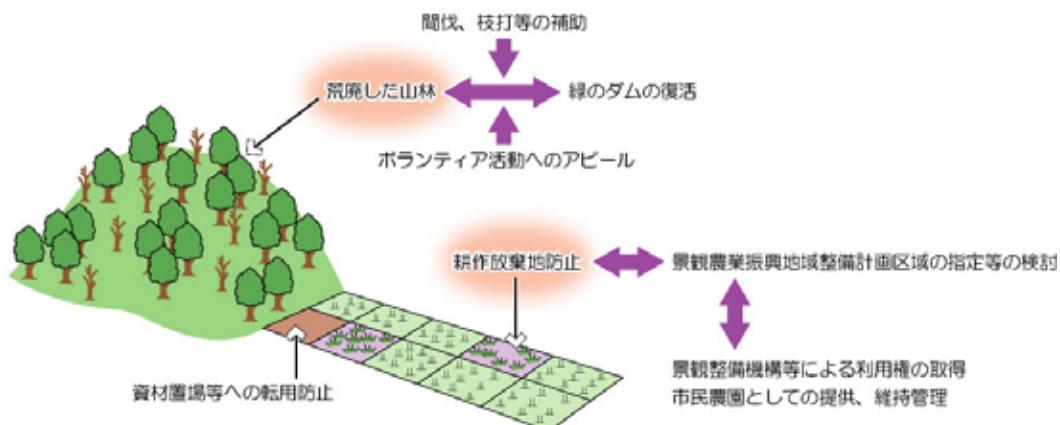
- ・市街地の背景を形成する緑地景観としての野田山、南部丘陵地の保全や、犀川上流域や長坂用水の水辺景観の保全を図ります。
- ・坪野地区の棚田風景の保全や、周囲の自然環境と一体となった魅力ある集落景観の形成を図ります。
- ・平栗地区のカタクリ群生の保全や平栗自然環境保全区域、内川地区自然環境保全協定地区の適切な管理を図り、優れた自然の保全を図ります。



【平栗いこいの森】



【水辺環境の保全】

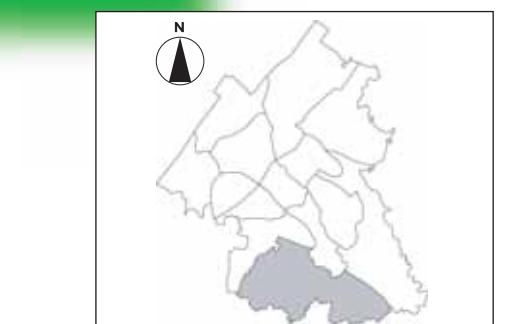
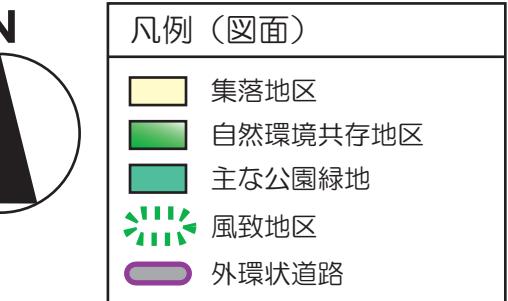


【荒廃した山林と耕作放棄地の対応】

安全・安心な地域づくりの方針

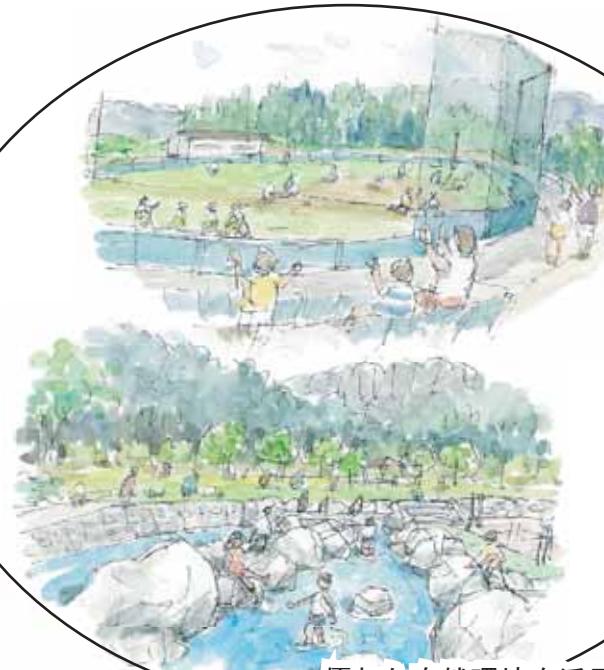
- ・災害発生時における山間集落の孤立化を防止するため、道路基盤の整備並びに山間地ネットワーク道路の形成を図ります。
- ・中山間集落の防災性の向上を図るため、安全な避難場所の確保を図るとともに、情報手段の整備充実を推進します。
- ・南部丘陵地の土砂災害危険箇所において、土砂災害防止対策を推進します。

『人と自然が融合した緑豊かな里山』



優れた自然環境を守り、育て、活かし、地域住民のみならず市民の憩いの空間として、その機能向上を推進します。

犀川や長坂用水の水辺景観の保全



優れた自然環境を活用したスポーツ・レクリエーション施設の整備拡充により、地域住民のみならず市民の自然学習・健康増進の空間として機能拡充を推進します。

集落間を結ぶ連絡道路の整備推進による山間地道路ネットワーク形成

公共交通による移動手段の充実

野田山丘陵や南部丘陵に広がる斜面緑地の保全

レクリエーション施設の充実と利用促進により自然とふれあう機会の拡充推進

北陸学院大学

内川スポーツ広場

内川小学校・中学校

坪野キャンプ場

地域資源を活用した交流拠点の整備充実

里山の自然環境の保全

南部丘陵地の土砂災害防止対策の推進

坪野地区の棚田風景や周囲の自然環境と一体となった集落地景観の保全

市街地や公共公益施設との連絡も容易な交通基盤や情報通信施設整備を進めます。
さらに、もしもの時に、緊急自動車が入りやすく、みんなで人やまちを守りやすい安全・安心のまちづくりを推進します。

9. 湖南地域

(1) まちづくりのテーマ

『豊かな田園風景に育まれたゆとりある 住宅・レクリエーション地域』

食糧生産の場や自然環境保全、良好な田園景観形成等の多面的な機能を有している農地の保全を図るとともに、郊外の伸びやかな自然環境と調和し、利便性が高く、安心、安全な暮らしを享受できる住宅地環境の形成を図ります。

また、金沢外環状道路海側幹線の未整備区間の整備促進と沿道周辺での無秩序な市街化を抑制するほか、河北潟の水辺環境を保全しながら、水郷レクリエーションゾーンとしての既存施設の整備充実や機能強化を図ります。

(2) 主なまちづくりの方針

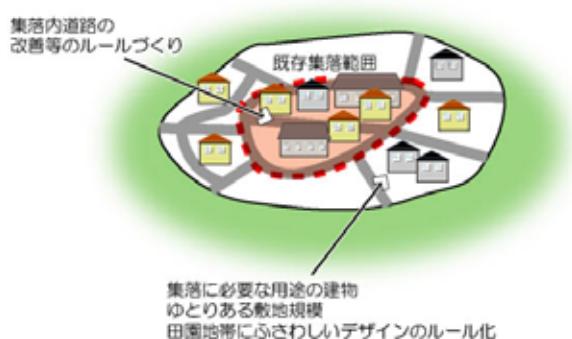
金沢外環状道路海側幹線の整備促進を図るとともに、沿道周辺での無秩序な市街化の抑制を図ります。
 優良農地の保全や良好な田園環境の保全に取り組みます。
 地域の連帯感の中で、安全、安心して快適に暮らせる居住基盤整備を図ります。
 河北潟の水辺環境の保全と、周辺のレクリエーション施設の充実や機能強化を図ります。

1) 土地利用の方針

- ・金沢外環状道路海側幹線沿道での無秩序な宅地化を抑制し、秩序ある土地利用を図ります。
- ・市街化調整区域内の集落等においては、自然環境と調和した土地利用を図ります。
- ・河北潟周辺に広がる優良農地の保全を図ります。



【優良農地の保全】



【集落地の適正なまちづくりの誘導】

2) 地域基盤整備の方針

地域整備の方針

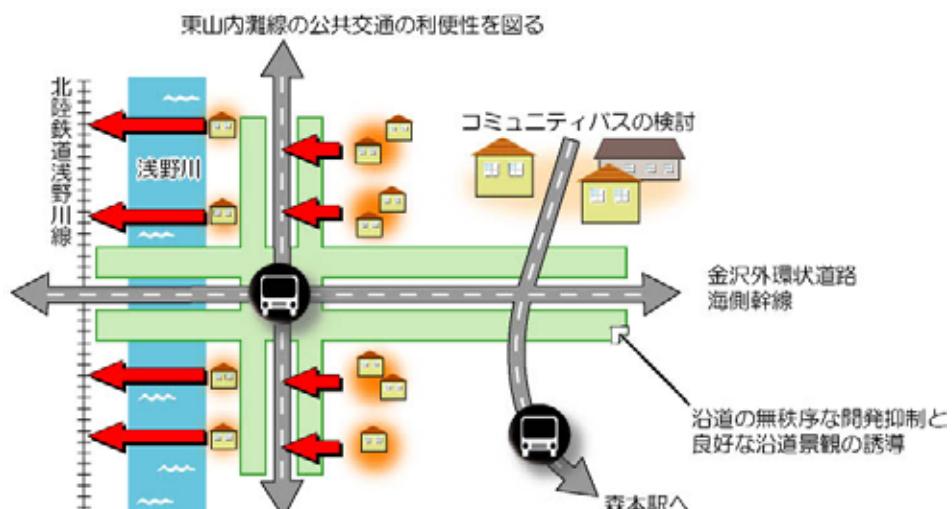
- ・市街化調整区域内の集落においては、定住人口やコミュニティ維持を図るため、地区計画制度を活用するなど、適正なまちづくりの誘導を図ります。
- ・金沢外環状道路海側幹線沿道については、農環境に配慮し、まちづくり協定を活用して無秩序な開発の抑制と良好な沿道景観の誘導を図ります。



【居住基盤の整備】

交通施設等整備の方針

- ・金沢外環状道路海側幹線の未整備区間の整備を推進し、早期開通を目指します。
- ・路線バスの利便性向上について交通事業者と連携を図りながら検討し、利用活性化を推進します。



【公共交通のネットワーク】

公園緑地整備の方針

- ・本市の競技スポーツの拠点として、金沢城北市民運動公園の管理運営の充実を図るとともに、拡張整備を推進します。
- ・北部公園については、市民の休息や散策、運動等の場として親しまれており、管理運営の充実を図ります。
- ・こなん水辺公園の水生動植物の生息環境を保全し、環境教育を充実させ、自然と親しむ交流拠点としての機能充実を図ります。



【こなん水辺公園】

- ・浅野川河川敷において、遊歩道を活用した水と緑と花に親しむことができる空間の整備を検討します。
- ・文化的な資産でもある地域の神社、仏閣の境内林、社叢林の保全を図ります。



【水辺環境の保全】

3) 地域環境整備の方針

地域環境形成の方針

- ・河北潟の野鳥や魚類、水生植物の生息環境を保全するため、ヨシ原の保全、再生や水質浄化を図ります。
- ・東インター大通りにおいて、屋外広告物の適切な規制誘導等により、周辺の田園景観と調和した良好な沿道景観の形成を図ります。
- ・広がりのある田園風景の保全を図るとともに、田園と調和した住宅地や集落地の良好な景観形成を目指します。



【耕作放棄地の対応】

安全・安心な地域づくりの方針

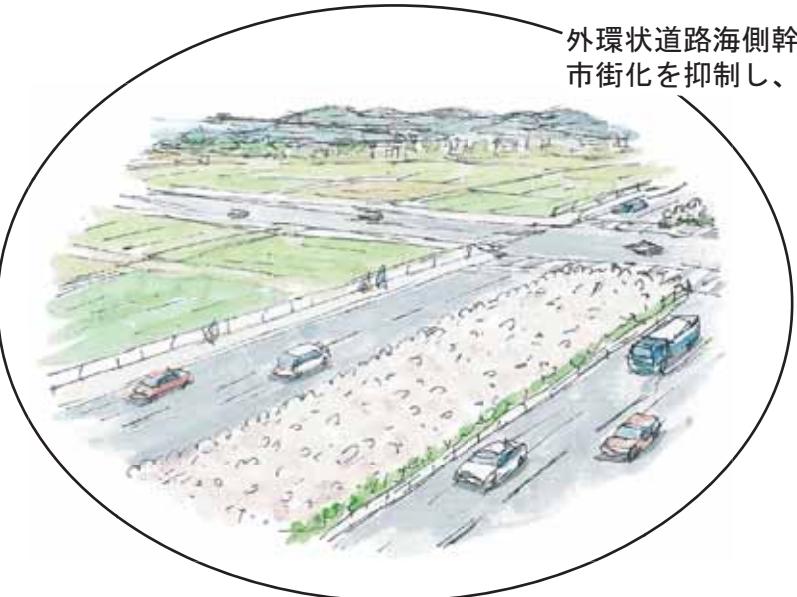
- ・浅野川の氾濫防止対策や河北潟周辺の浸水対策として、大宮川等の河川改修整備を推進し、水害防止を図ります。

『豊かな田園風景に育まれたゆとりある住宅・レクリエーション地域』



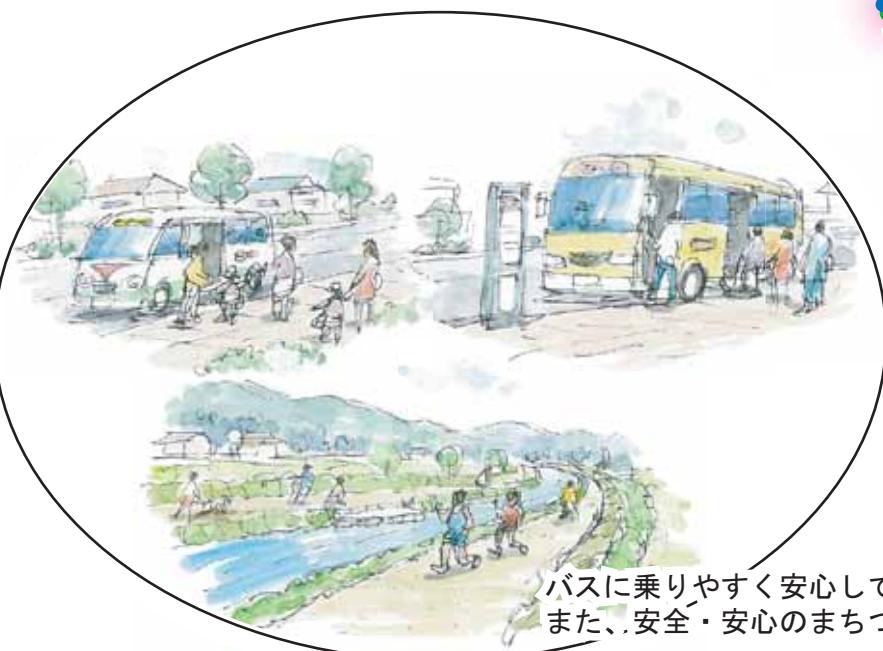
凡例(図面)	
	住宅専用地区
	一般住宅地区
	生産機能地区
	都市型産業地区
	農業環境保全活用地区
	沿道複合地区
	主な公園緑地
	地域商業地
	流通業務地
	外環状道路
	中環状道路
	公共交通重要路線

凡例(方針)	
	土地利用の方針
	地域整備の方針
	交通施設等整備の方針
	公園緑地整備の方針
	地域環境形成の方針
	安全・安心な地域づくりの方針



外環状道路海側幹線道路の整備促進と併せ、無秩序な市街化を抑制し、地域の快適な住環境を守ります。

- 河北潟や浅野川等の水辺景観の保全
- 金沢外環状道路(海側幹線)の整備促進
- 金沢外環状道路(海側幹線)沿道の無秩序な宅地化の抑制
- 東インター大通りと周辺の田園景観と調和した沿道景観の形成
- 城北市民運動公園の拡張整備やグラウンドゴルフ場などの機能拡充



バスに乗りやすく安心して歩けるまちづくりを進めます。
また、安全・安心のまちづくりを推進します。

こなん水辺公園におけるホタルの生息環境保全と交流の場として機能充実

河北潟周辺に広がる優良農地の保全

浅野川の氾濫防止対策や河北潟周辺の浸水対策として大宮川等の河川改修の整備

河北潟における野鳥等の生息環境の保全

公共交通の利便性向上

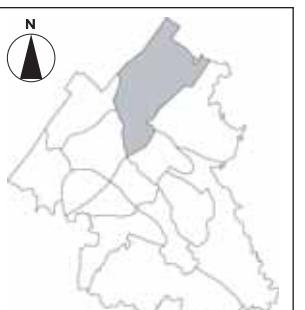
北部公園の機能充実



市街化を推進すべき区域を明確化し、抑制すべき区域では、地域の貴重な農業基盤として優良農地の保全を図ります。



スポーツ・レクリエーション施設の整備拡充により、自然学習・健康増進の空間として機能拡充を推進します。



10. 北部地域

(1) まちづくりのテーマ

『駅やインターを核とした 緑あふれる魅力的な北の拠点』

交通結節点であるJR森本駅周辺の基盤整備を推進し、金沢北部の玄関口にふさわしい機能集積や強化を図るほか、北陸自動車道森本IC周辺についても、広域交通結節点として道路機能の強化を図ります。

また、歴史的なまちなみの保全に配慮しつつ、住宅密集地の居住環境の向上を図るほか、市街地背後の丘陵や周辺に広がる農地、里山環境の保全に努め、緑豊かな自然環境と調和した良好な居住地としてのまちづくりを目指します。

(2) 主なまちづくりの方針

JR森本駅周辺の再整備を推進し、魅力と人が集まる賑わいのある玄関口の創出を図ります。
 丘陵の緑地帯をはじめ、農地や河川の自然環境、里山の保全を図ります。
 既存住宅地の居住環境並びに防災性の向上を図ります。

1) 土地利用の方針

- ・JR森本駅周辺の商業、業務機能の強化など、交通拠点性を活かした土地利用を図ります。
- ・北陸自動車道金沢森本ICの広域交通拠点を活用し、金沢テクノパークにおいては先端産業を配し、河原市工業団地においては流通業務地としての土地利用を図ります。
- ・市街化調整区域内の集落等においては、自然環境と調和した土地利用を図ります。



【集落地の適正なまちづくりへの誘導】

2) 地域基盤整備の方針

地域整備の方針

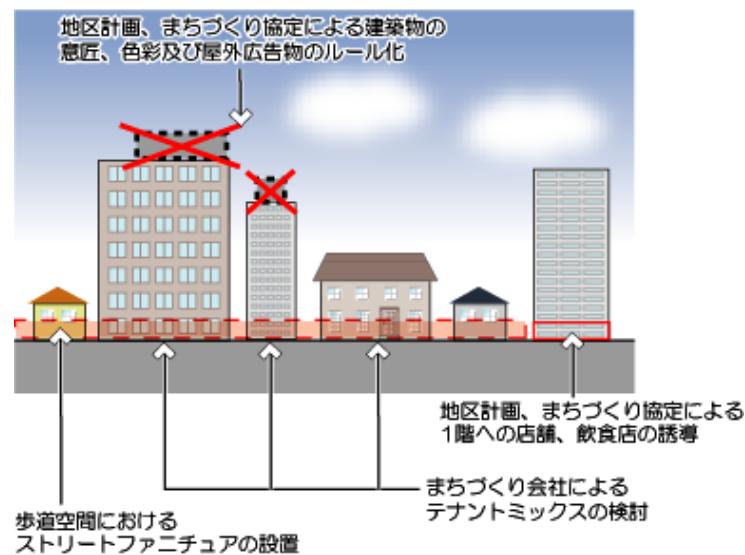
- ・JR森本駅周辺において、多くの人々が集散する拠点にふさわしい基盤整備を図り、機能的で賑わいのある市街地形成を推進します。
- ・中山間地域の日常生活を支える地域づくりを検討します。
- ・金沢テクノパークにおいて、さらなる企業誘致を図るとともに、河原市工業団地において面的基盤整備を推進します。
- ・市街化調整区域内の集落においては、定住人口やコミュニティ維持を図るため、地区計画制度を活用するなど、適正なまちづくりの誘導を図ります。
- ・東部丘陵は、引き続き風致地区として、その自然環境の保全に取り組みます。



【南森本町住宅団地】



【金沢テクノパーク】



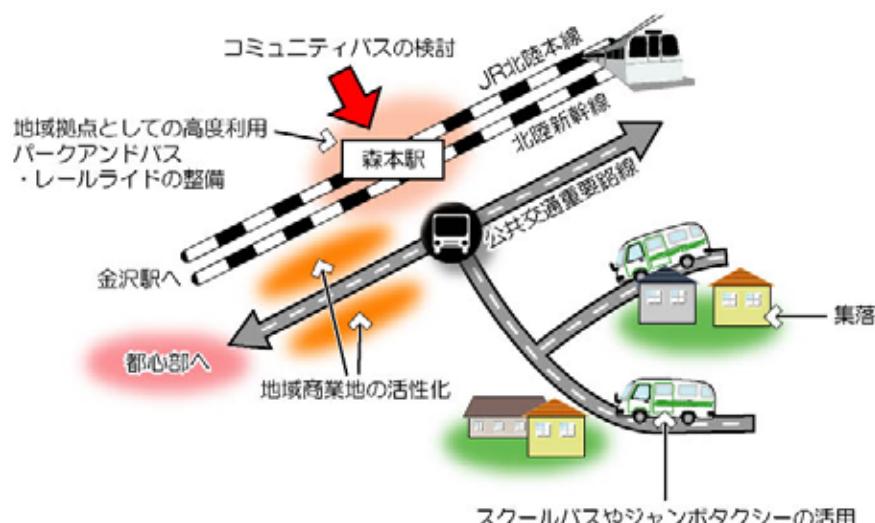
【地域商業地のイメージ】

交通施設等整備の方針

- ・金沢北部の玄関口であるJR森本駅東広場の再整備を推進し、交通結節点としての機能強化を図ります。
- ・JR森本駅周辺において、パーク＆ライド駐車場の確保並びに利用促進を図るとともに、路線バスの利便性向上について交通事業者と連携を図りながら検討し、利用活性化を推進します。
- ・**利用されやすい公共交通のあり方について地域住民と協働で考え、スクールバスやジャンボタクシーなどの活用等も検討しながら、中山間地域におけるモビリティ確保に努めます。**
- ・金沢外環状道路山側幹線の4車線化を推進します。
- ・国道304号、359号等の幹線道路の整備充実を図ります。



【現在のJR森本駅東広場】



【公共交通のネットワーク】

公園緑地整備の方針

- ・河原市用水沿いに周辺の豊かな緑と美しい水辺を活かした散策路を整備し、快適な水と緑の空間の創出を検討します。

3) 地域環境整備の方針

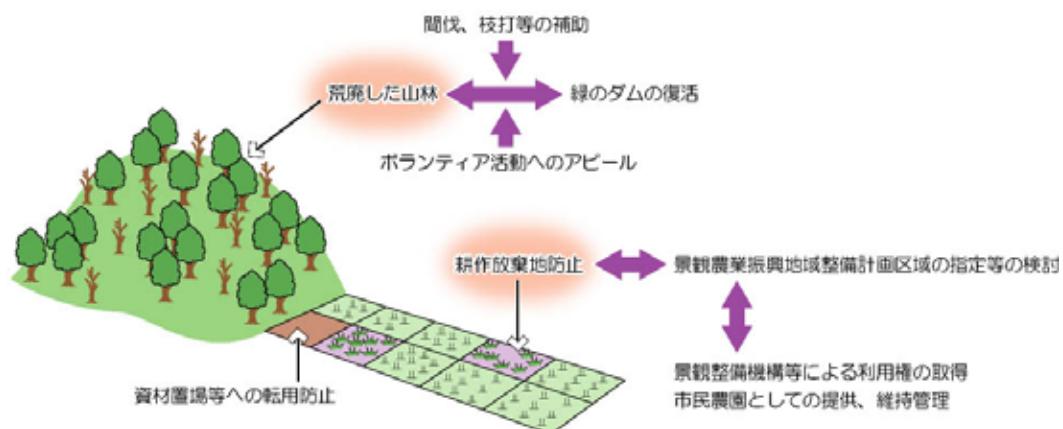
地域環境形成の方針

- ・卯辰山丘陵や東部丘陵に広がる斜面緑地の保全や、東原町の水芭蕉群等の貴重な植生の積極的な保全を図ります。
- ・JR森本駅周辺や金沢森本IC周辺において、市の北の玄関口としてふさわしい魅力ある景観形成を図ります。

- ・旧北国街道の歴史的なまちなみ景観、波自加弥神社等の由緒ある神社仏閣等の景観の保全を図ります。
- ・森下川や河原市用水等の維持、管理等により、良好な水辺環境の創出を図ります。



【旧北国街道の面影を残す県道】



【荒廃した山林と耕作放棄地の対応】

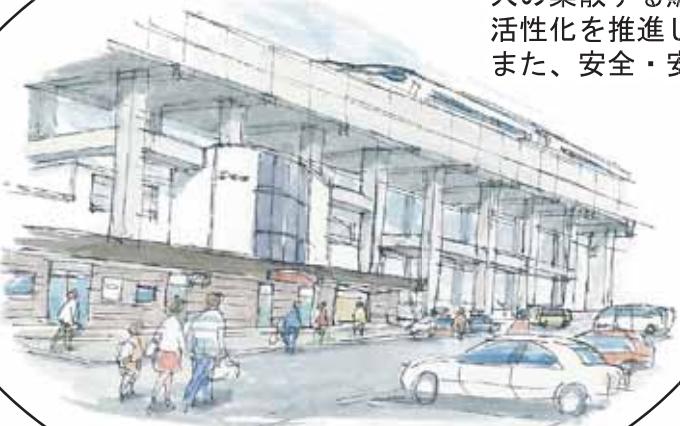
安全・安心な地域づくりの方針

- ・広域防災拠点として高速道路インターチェンジの活用を検討します。
- ・老朽化が進んでいる住宅団地の防災性の向上を図ります。
- ・水害被害を防止するため、森下川の河川改修整備を図ります。
- ・北部地域の土砂災害危険箇所において、土砂災害防止対策を図ります。

『駅やインターチェンジを核とした緑あふれる魅力的な北の拠点』



森本駅を交通結節点としての機能強化と併せて、人の集散する賑わい拠点として整備し、地域の活性化を推進します。
また、安全・安心のまちづくりを推進します。



北の玄関口としてふさわしい景観の形成

JR森本駅東広場の再整備

外環状道路(海側幹

整備

ク & ライド駐車場の設置による 交通の利用促進

森下川の河川改修と土砂災害防止
対策の推進

森下川や河原市用水等の良好な水辺環境の創出

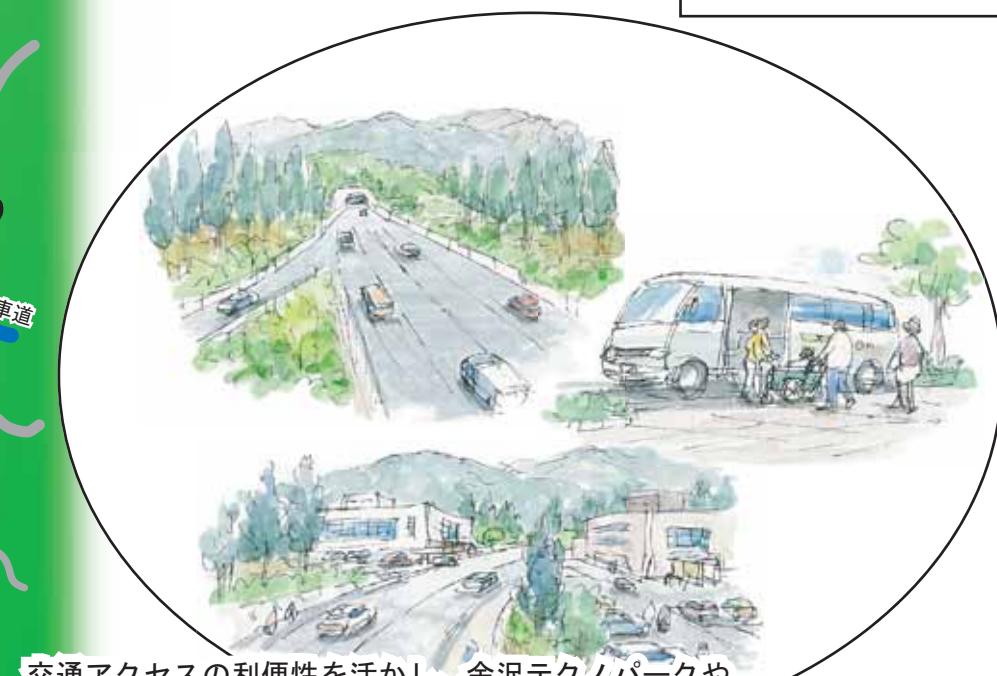
旧北国街道の歴史的なまちなみや
由緒ある神社仏閣などの景観の保全

丘陵部の斜面緑地の保全

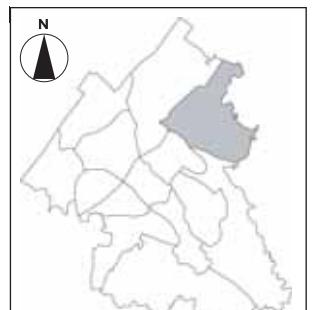


凡例（方針）

- 土地利用の方針
- 地域整備の方針
- 交通施設等整備の方針
- 公園緑地整備の方針
- 地域環境形成の方針
- 安全・安心な地域づくりの方針



交通アクセスの利便性を活かし、金沢テクノパークや河原市工業団地の活性化を推進します。
また、公共交通の利便性に優れた快適なまちづくりを推進します。



優れた自然環境や歴史的な町並みを活かし、
地域住民の誇りの空間として、その機能向上
を推進します。

11. 駅西地域

(1) まちづくりのテーマ

『広域都市機能が集積する活気あふれる金沢駅西新都心』

新都心の玄関口としてふさわしい金沢駅西広場の再整備や、交通結節機能の強化を図るとともに、都心軸周辺において、バスの利便性向上や広域業務機能の集積、近代的な都市景観の形成を図り、活力と賑わいのある新都心の創出を図ります。

また、新都心居住機能の充実強化により、職住のバランスのとれた快適な新都心生活が享受できる環境づくりや、安全、安心基盤の強化により、すべての人が生活しやすいまちづくりを目指します。

(2) 主なまちづくりの方針

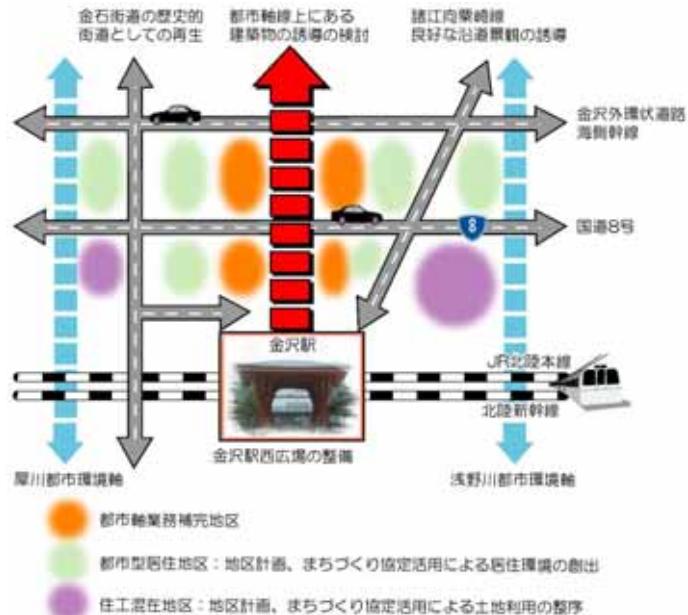
新都心の玄関口として、金沢駅西広場の再整備を推進します。

賑わいや活力の軸として、都心軸の機能強化を図ります。

身近な緑や河川空間を活用し、緑とゆとりある住宅地など、魅力ある都心居住の環境づくりを図ります。

1) 土地利用の方針

- ・都心軸周辺では、中心商業地として北陸地域の広域業務機能の集積を図るとともに、金沢駅西口周辺においては、交通結節拠点としての機能強化やそれに伴う有効な土地利用を図ります。
- ・都心軸背後の住宅地においては、居住環境の向上を基本とした土地利用を図り、職住が近接した快適で魅力ある都市環境の形成を目指します。
- ・マンションと戸建住宅が混在立地する住宅地において、良好な居住環境や秩序あるまちなみ景観の維持を図ります。
- ・住工混在地区においては、**地域特性に応じたルールを定める**など、ミニ開発を抑制した秩序ある土地利用の誘導を図ります。



【土地利用、市街地整備のイメージ】

2) 地域基盤整備の方針

地域整備の方針

- ・金沢駅西口において、駅西地域の玄関口としてふさわしい広場の整備を推進し、機能的で賑わいにあふれた空間づくりを図ります。
- ・都心軸周辺において、都心への近接性と各種都市機能の集積という優れた環境を活かし、地区計画やまちづくり協定の活用により、職住近接型で質の高い居住環境の整備を図ります。
- ・高度地区の指定を推進するとともに、地区計画やまちづくり協定の活用により、建物の高さが揃ったまちなみ形成を図ります。
- ・住工商の建物が混在する住宅地については、用途地域の見直しや特別用途地区の設定等を検討し、良好な市街地形成を図ります。



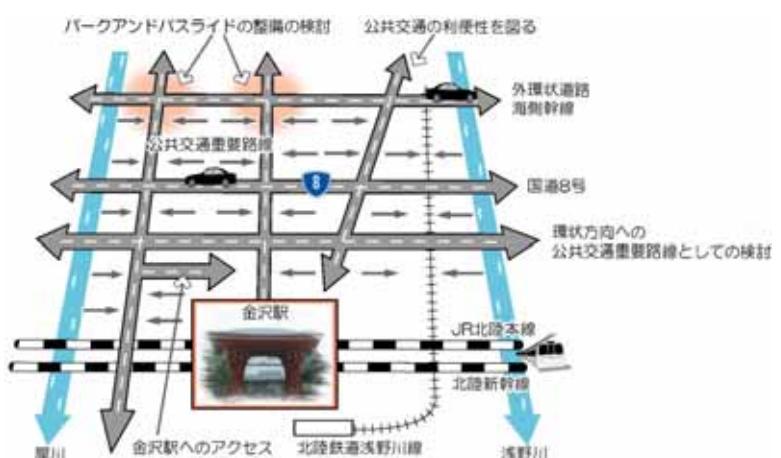
【現在のJR金沢駅西口広場】



【居住環境の整備】

交通施設等整備の方針

- ・北陸新幹線開業を踏まえ、金沢駅西広場において、交通結節機能の向上及び賑わい創出を目指し、広場の拡張や広場機能の充実、歩道付き道路の整備等の再整備を推進します。
- ・都心部へのアクセスにあたっては、公共交通利用が基本となることを目指し、公共交通重要路線を中心にバスレーン、公共交通優先システム(PTS)の導入を検討するなど、バス交通の定時性、速達性の確保を図ります。
- ・路線バスの利便性向上について交通事業者と連携を図りながら検討し、利用活性化を推進します。
- ・金沢外環状道路海側幹線や中環状道路等の整備により、幹線道路ネットワークの確立を図ります。
- ・金沢外環状道路海側幹線と主要放射幹線道路の交差点周辺において、パーク＆ライド駐車場の確保を図り、マイカーから公共交通への利用転換を図ります。



【公共交通のイメージ】

公園緑地整備の方針

- ・住宅や公共施設の緑化、商業、業務施設の屋上緑化等を図り、まちなかの緑の増大を目指します。
- ・地区の様々な施設との連携を支援できる緑の交流軸の形成のため、犀川から浅野川間に西部緑道の整備を推進するほか、周辺の公園、河川緑地等を結ぶ緑のネットワークの形成を検討します。



【緑の増大を目指す住宅地】

3) 地域環境整備の方針

地域環境形成の方針

- ・都心軸をはじめ金沢駅西口周辺、金沢外環状道路海側幹線、諸江通りにおいて、沿道建築物や屋外広告物の適正な規制誘導、街路樹の維持管理等により、洗練された近代的なまちなみ景観の形成を図ります。
- ・地域内を流れる犀川、浅野川の河川緑地の保全や親水空間の創出を図ります。

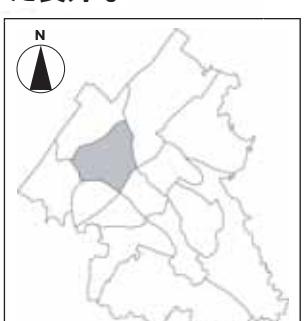
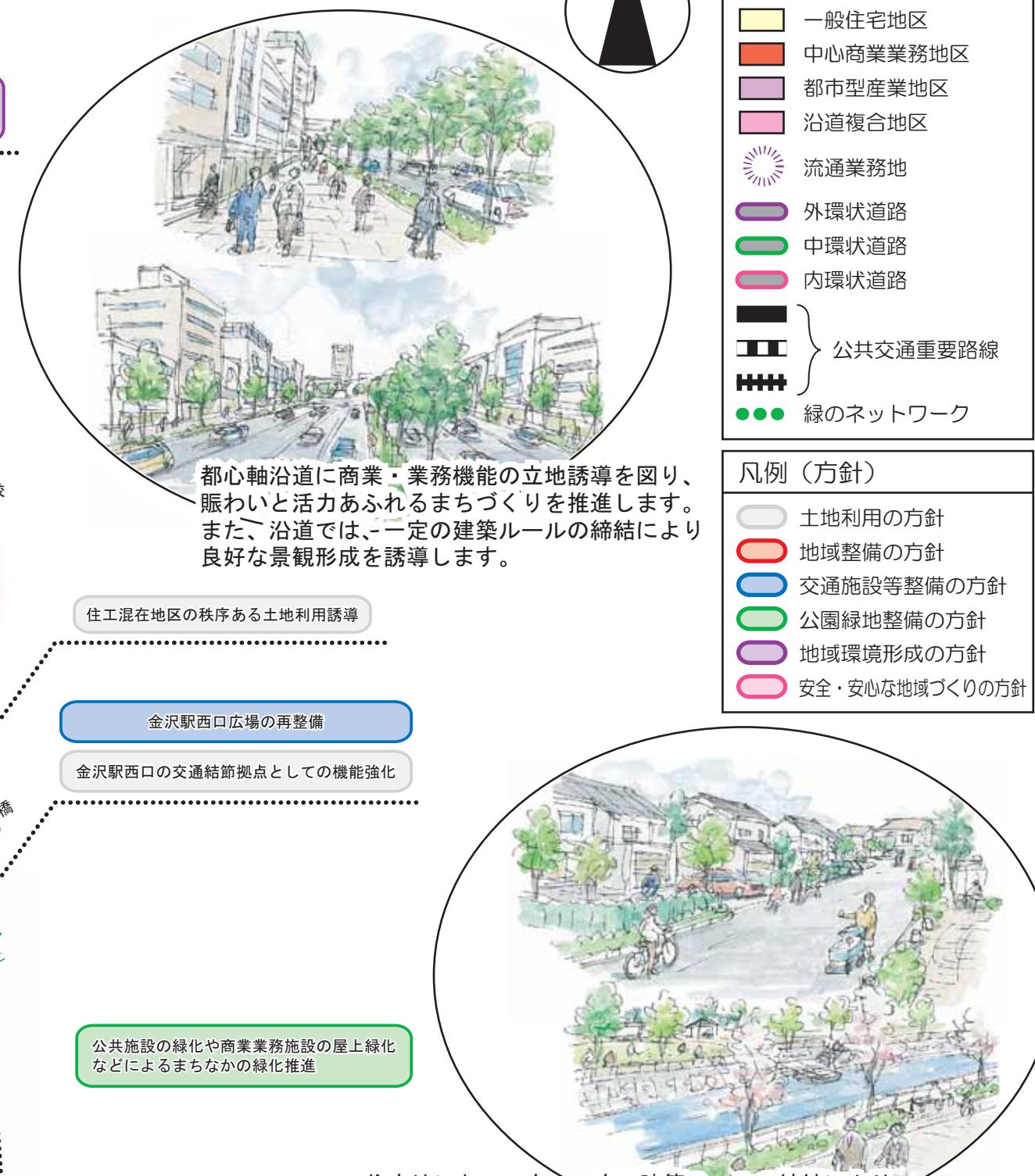
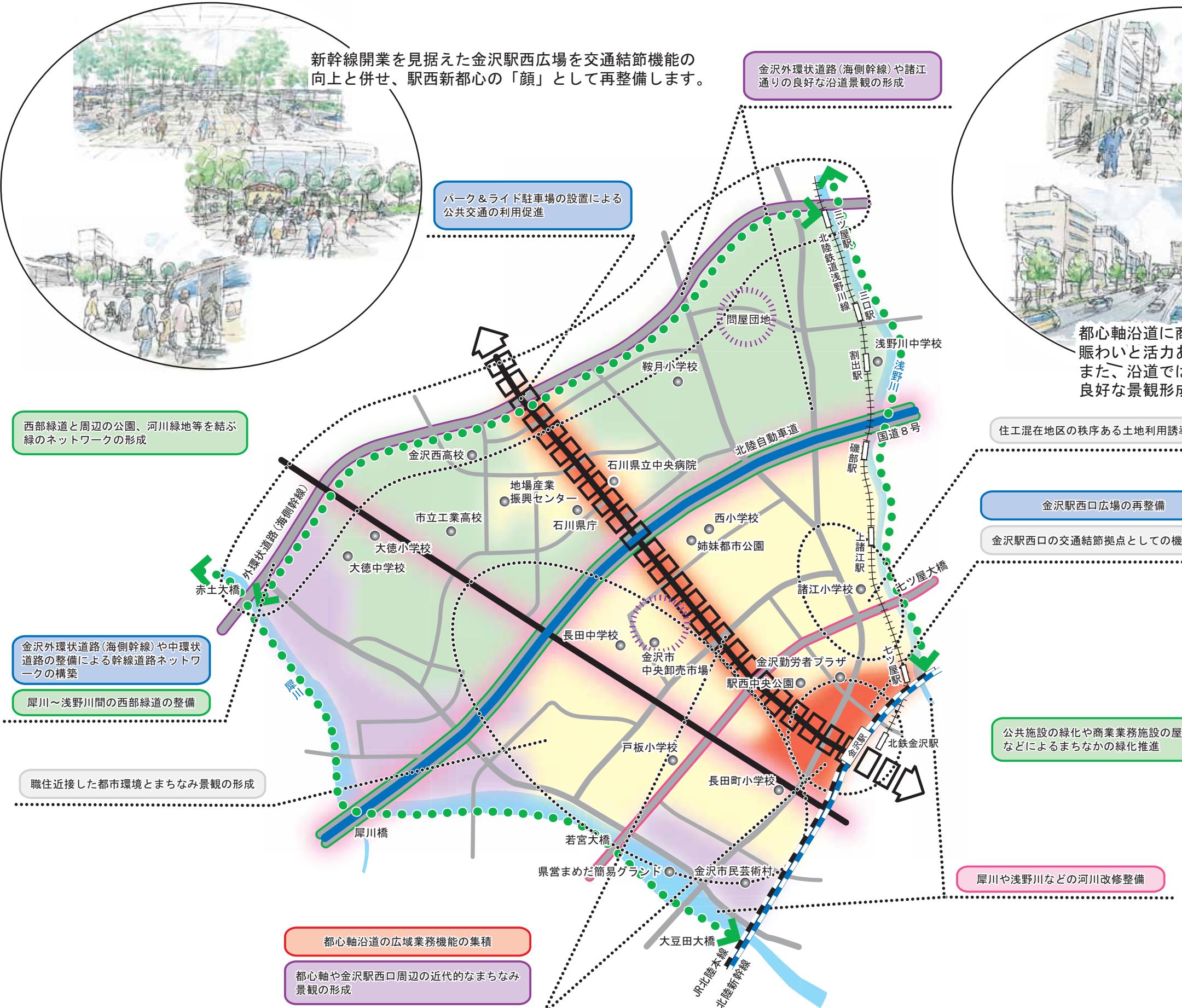
安全・安心な地域づくりの方針

- ・水害被害を防止するため、犀川、浅野川、弓取川、木曳川等の河川改修整備を図ります。



【近代的なまちなみ景観を
誘導する都心軸】

『広域都市機能が集積する活気あふれる金沢駅西新都心』



12. 臨海地域

(1) まちづくりのテーマ

『金沢港を核とした活力と賑わいのある海の玄関口』

金沢港の物流機能の強化に向けた整備や周辺の工業立地基盤の整備を推進し、新都心と連携して、海の玄関口としてふさわしい機能的で活力ある臨海部の創出を図ります。

また、金石、大野地区における港町の歴史性を活かした環境整備や、市内有数の園芸産地である五郎島地区の優良農地の保全を図るとともに、道路交通基盤や防災基盤の整備充実に努め、安全、安心して暮らせる居住環境の創出を図ります。

(2) 主なまちづくりの方針

金沢港の港湾機能の強化と周辺の工業立地基盤の整備を推進します。
新都心と連携した金沢港の魅力や賑わい創出を目指します。
金石、大野地区において、歴史的まちなみの保全を前提とした安全、
安心して暮らせる居住基盤の整備充実を図ります。
五郎島地区の優良農地や自然緑地の保全を図り、緑豊かな地域づくり
を推進します。

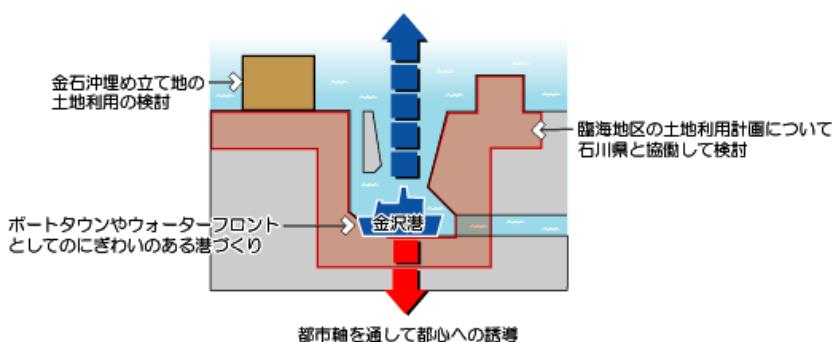
1) 土地利用の方針

- ・金沢港周辺において、新たなものづくり産業の拠点形成を促す土地利用を図ります。
- ・金石港沖合の埋立地の**土地利用**を検討します。
- ・住工の用途混在地区においては、**地域特性に応じたルールを定めるなど、ミニ開発を抑制した**秩序ある土地利用の誘導を図ります。
- ・金石、大野地区の歴史的まちなみの保全を前提とした災害に強い居住基盤の整備を図ります。



【金沢港周辺】

国外の定期航路確保のさらなる推進



【金沢港の整備イメージ】

- ・五郎島地区において無秩序な宅地化を防止し、優良農地の保全を図ります。
- ・市街化調整区域内の集落等においては、自然環境と調和した土地利用を図ります。



【市街地整備のイメージ】

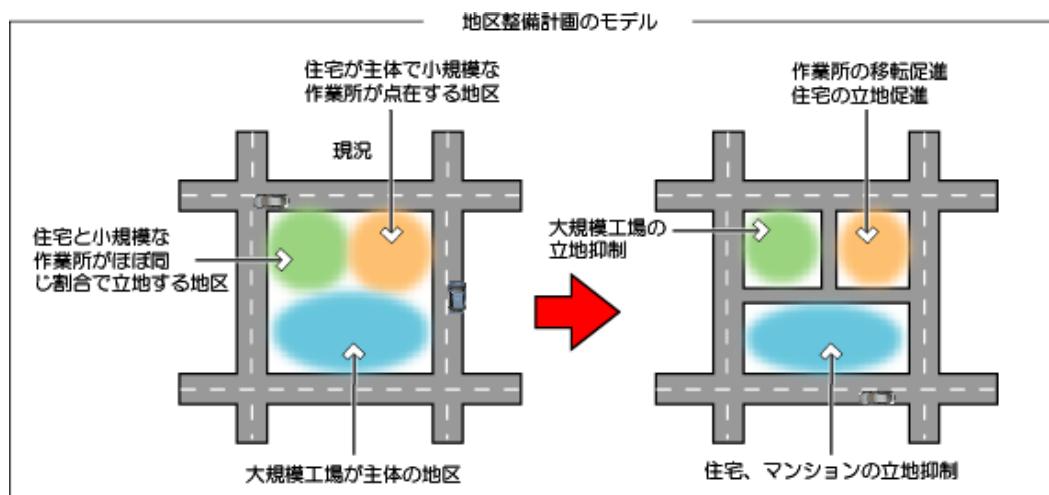
2) 地域基盤整備の方針

地域整備の方針

- ・金沢港周辺において、新たなものづくり産業の拠点の創出を目指し、工業立地基盤の整備充実や企業の集積を推進します。
- ・住工商の建物が混在する地区については、用途地域の見直しや特別用途地区の設定等を検討し、良好な市街地形成を図ります。
- ・金石、大野地区の昔ながらの歴史的まちなみの維持、保全に配慮しつつ、住民と行政の協働のもと、居住環境並びに防災基盤の整備充実を図ります。
- ・市街化調整区域内の集落においては、定住人口やコミュニティ維持を図るため、地区計画制度を活用するなど、適正なまちづくりの誘導を図ります。



【金石、大野地区の基盤整備イメージ】



【住工混在地区の整備イメージ】

交通施設等整備の方針

- ・金沢港において、国際物流拠点としての機能充実に向け、大水深岸壁や外周護岸等の整備を推進します。
- ・金沢外環状道路海側幹線の未整備区間の整備を推進し、早期開通を目指します。
- ・能登地域と金沢中心部への連絡強化を図るため、主要地方道金沢田鶴浜線（金沢能登連絡道路の直線化）や諸江向粟崎線の整備を推進します。
- ・都心部方面へのアクセスにおいて、マイカー中心からマイカーと公共交通による移動への転換を目指し、パーク＆ライド駐車場の確保を図るほか、公共交通重要路線を中心に公共交通優先システム（PTPS）の導入を検討するなど、バス交通の定時性、速達性の確保を図ります。
- ・路線バスの利便性向上について交通事業者と連携を図りながら検討し、利用活性化を推進します。



【現在の金沢港】

公園緑地整備の方針

- ・金石、大野やすらぎの林や大野お台場公園等において、海を身近に感じ、海とふれあえる憩い空間の創出を図ります。
- ・犀川河川敷を有効活用し、市民が身近に憩える親水性の高いレクリエーション空間の創出を図るほか、周辺の公園、河川緑地等を結ぶ緑のネットワークの形成を検討します。

3) 地域環境整備の方針

地域環境形成の方針

- ・都心軸沿線において、連続した近代的なまちなみ形成を図ります。
- ・金石、大野地区の歴史的なまちなみをはじめ、醤油工場やもろみ蔵等の由緒ある建造物や大野日吉神社、大野湊神社等の由緒ある神社仏閣の保全を図ります。
- ・海岸沿いの樹林帯は防風、防砂機能のみならず風致保全上においても重要であり、今後とも保全を図ります。
- ・犀川、浅野川、大野川や鞍月用水等の環境美化に努め、良好な水辺空間の形成を図ります。



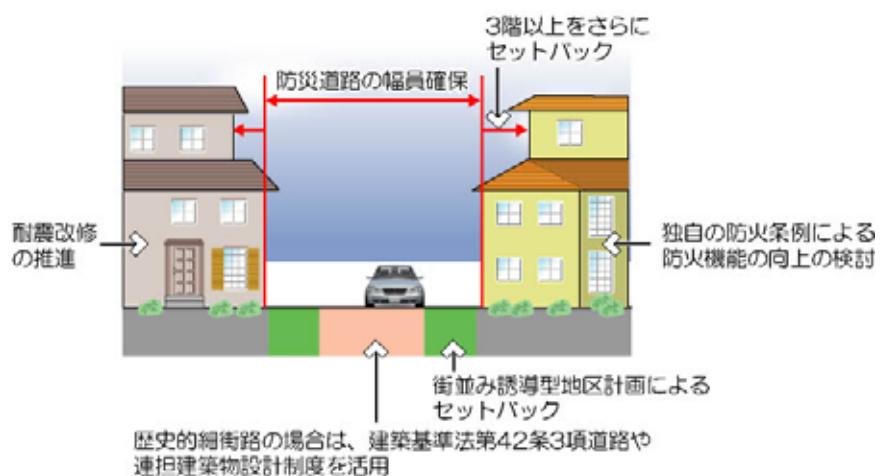
【歴史的なまちなみ】



【海岸沿いの景観】

安全・安心な地域づくりの方針

- 木造住宅密集地において、安全な避難路、避難場所の確保、建築物の不燃化、耐震化等の防災基盤の整備や地域住民の協定に基づく防災まちづくりを推進します。
- 風害、塩害防止帯として、海岸部の樹林地帯や海岸保安林等の保全、育成を図ります。
- 水害被害を防止するため、犀川、**大野川**、弓取川、木曳川等の河川改修整備を図ります。



【密集市街地の改善】

『金沢港を核とした活力と賑わいのある海の玄関口』



海運の物流拠点としての金沢港の整備拡充と併せ、これを活かした工業集積により、活力あふれるまちづくりを推進します。

金石・大野やすらぎの林など
海とふれあえる憩い空間の創出

海岸沿いの樹林地帯や海岸
保安林などの保全・育成

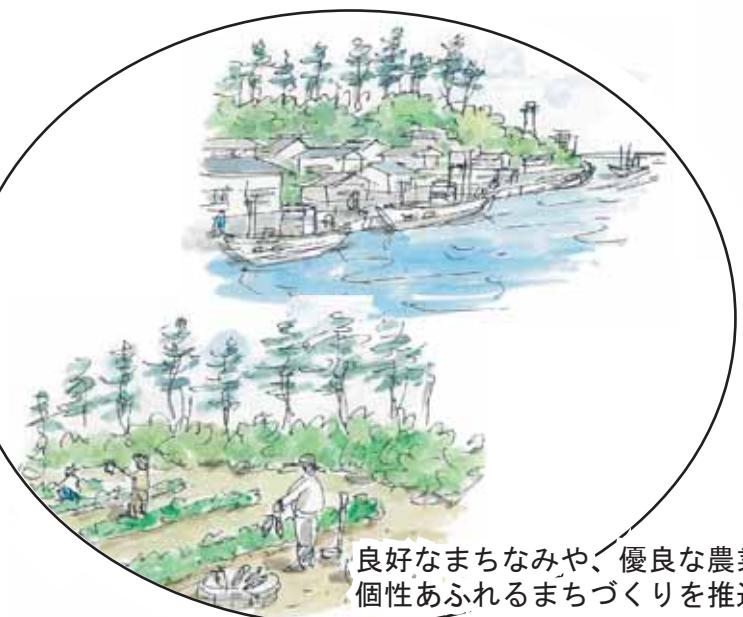
金石港沖合い埋立地の有効利用

金石・大野地区の歴史的まちなみの
維持・保全と居住環境、防災基盤の
整備充実

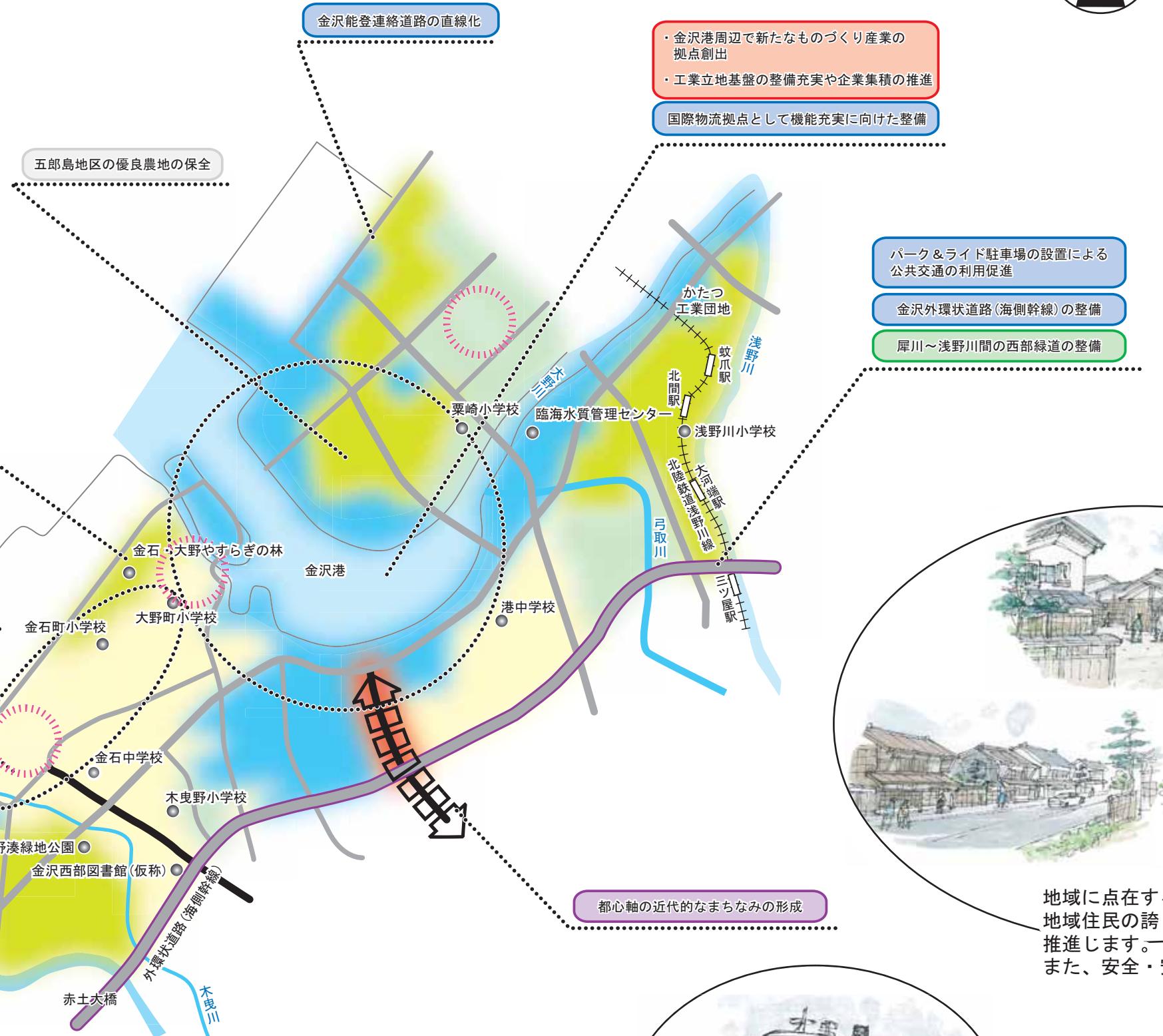
犀川、大野川、弓取川、
木曳川の河川改修整備

犀川、浅野川、その他用水の
環境美化と水辺空間の形成

地域住民の協定に基づく
防災まちづくりの推進



良好なまちなみや、優良な農業生産基盤の保全を図り、
個性あふれるまちづくりを推進します。

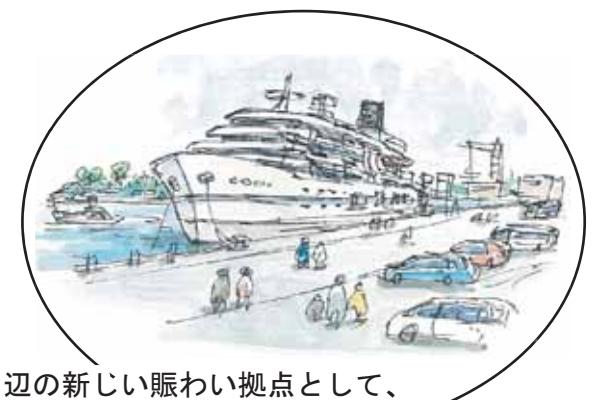


凡例(図面)	
■ 住宅専用地区	一般住宅地区
■ 中心商業業務地区	生産機能地区
■ 農業環境保全活用地区	風致地区
■ 地域商業地	外環状道路
■ 公共交通重要路線	

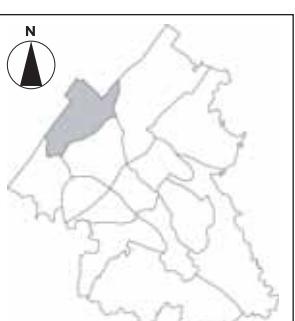
凡例(方針)	
■ 土地利用の方針	地域整備の方針
■ 地域整備の方針	交通施設等整備の方針
■ 交通施設等整備の方針	公園緑地整備の方針
■ 公園緑地整備の方針	地域環境形成の方針
■ 地域環境形成の方針	安全・安心な地域づくりの方針



地域に点在する様々な歴史文化遺産を活かし、
地域住民の誇りとなる魅力あるまちづくりを
推進します。
また、安全・安心のまちづくりを推進します。



金沢港周辺の新しい賑わい拠点として、
その整備を推進します。



13. 西南部地域

(1) まちづくりのテーマ

『住宅と都市型産業が調和する金沢の西の玄関口』

JR西金沢駅や北陸自動車道、国道8号等の広域交通の結節性を活かした生活利便性の高い住宅地の形成を図るため、JR西金沢駅西側一帯の基盤整備や公共交通への利用転換と利便性向上に向けた取り組みを推進します。

また、住商工の用途の混在を整序しつつ、居住環境の保護や都市緑化の推進、防災基盤の整備充実等を推進し、子どもから高齢者まで誰もが住みよいまちづくりを目指します。

(2) 主なまちづくりの方針

JR西金沢駅西側の基盤整備を推進します。

公共交通への利用転換を促進するとともに、パーク＆ライドシステムを推進します。

住商工の用途の混在を整序しつつ、住環境の向上や防災に配慮したまちづくりを図ります。

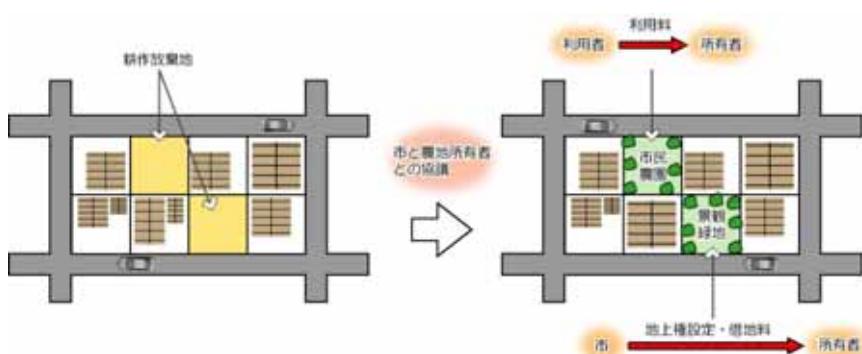
(都) 専光寺野田線において、良好な沿道景観の形成を図ります。

1) 土地利用の方針

- 幹線道路沿道における秩序ある土地利用を図ります。
- 古府松島地区等の都市型産業地区において、現土地利用を維持しつつ、操業環境の向上を支援する土地利用を図ります。
- 住工混在地区における用途の混在を整序しつつ、良好な市街地の形成と都市環境の創出を図ります。
- JR西金沢駅周辺の工場跡地の有効利用を促進し、秩序あり魅力的で活力のあるまちづくりを推進します。



【都市型産業を形成する
古府松島地区】



【住と農が調和した土地利用のイメージ】

2) 地域基盤整備の方針

地域整備の方針

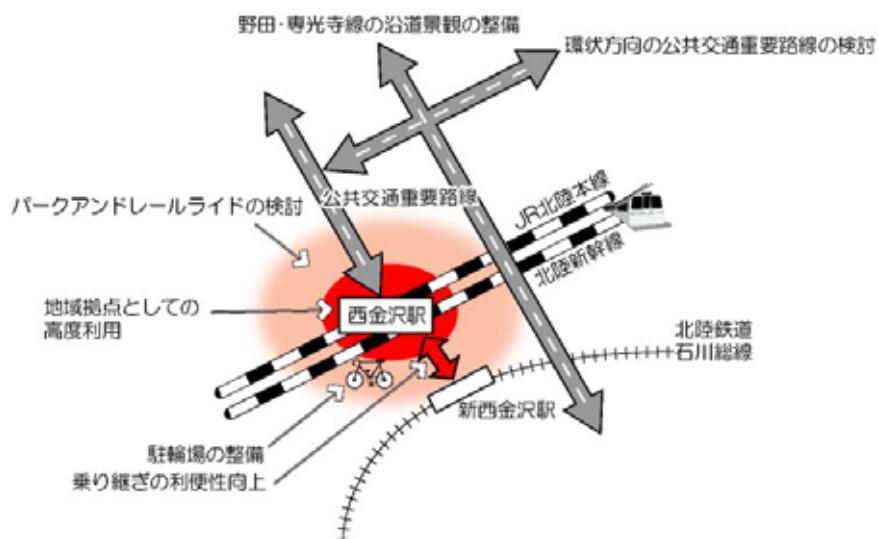
- ・幹線道路沿道において、地区計画やまちづくり協定の活用により、背後の居住環境と調和した良好な市街地の形成を図ります。
- ・都市型産業地区において、ふさわしい企業の集積等による機能強化を図るとともに、緩衝緑地の設置等により、周辺の住環境と調和した市街地形成を図ります。
- ・大規模な工場跡地においては、将来の土地利用を十分に検討し、都市基盤整備を推進します。
- ・住工商の建物が混在する住宅地については、用途地域の見直しや特別用途地区の設定等を検討し、良好な市街地形成を図ります。

交通施設等整備の方針

- ・北陸自動車道金沢西ＩＣ周辺及びＪＲ西金沢駅周辺において、パーク＆ライド駐車場の確保並びに利用促進を図り、都心部へのアクセスについて、マイカーから公共交通への乗り継ぎを検討します。
- ・ＪＲ西金沢駅周辺において、バス停をはじめ、タクシー乗降場、送迎用駐車場、駐輪場からなる駅西広場の整備を推進します。
- ・都心部方面へ向かうバス交通の利便性向上を目指し、公共交通重要路線を中心に公共交通優先システム（ＰＴＰＳ）の導入を検討するなど、バス交通の定時性、速達性の確保を図ります。
- ・路線バスの利便性向上について交通事業者と連携を図りながら検討し、利用活性化を推進します。
- ・犀川以南区間における鉄道の連続立体交差については、事業化の可能性について検討します。



【北陸自動車道西 IC 周辺地区】



【公共交通のイメージ】

公園緑地整備の方針

- ・犀川や伏見川沿いの河川緑地を保全するとともに、住宅や民有施設の綠化を図り、緑の増大と連続性を図ります。
- ・JR西金沢駅の西口に地域住民が憩える公園の整備を図ります。

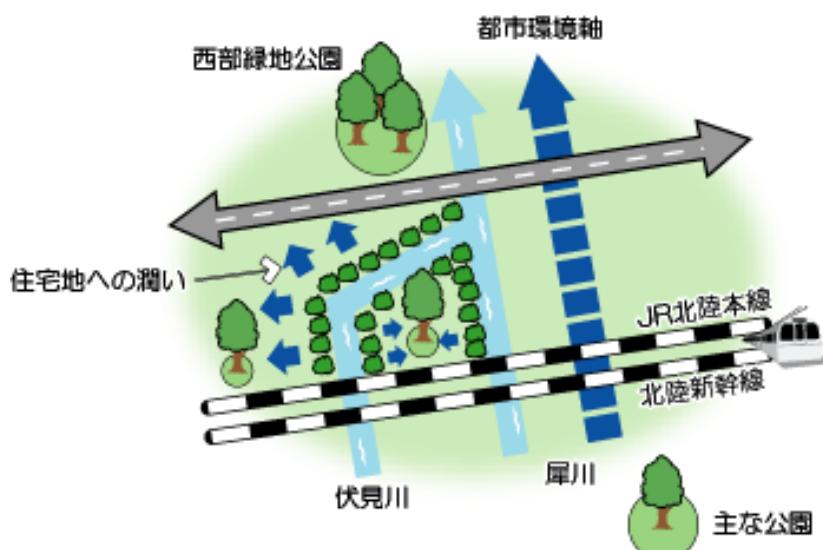
3) 地域環境整備の方針

地域環境形成の方針

- ・西インター大通りにおいて、本市の玄関口にふさわしい質の高い沿道景観の形成を図ります。
- ・犀川や伏見川、中村高畠用水等の良好な水辺空間の保全と、良好な景観の創出を図ります。



【西インター大通り】



【河川を活かした環境ネットワーク】

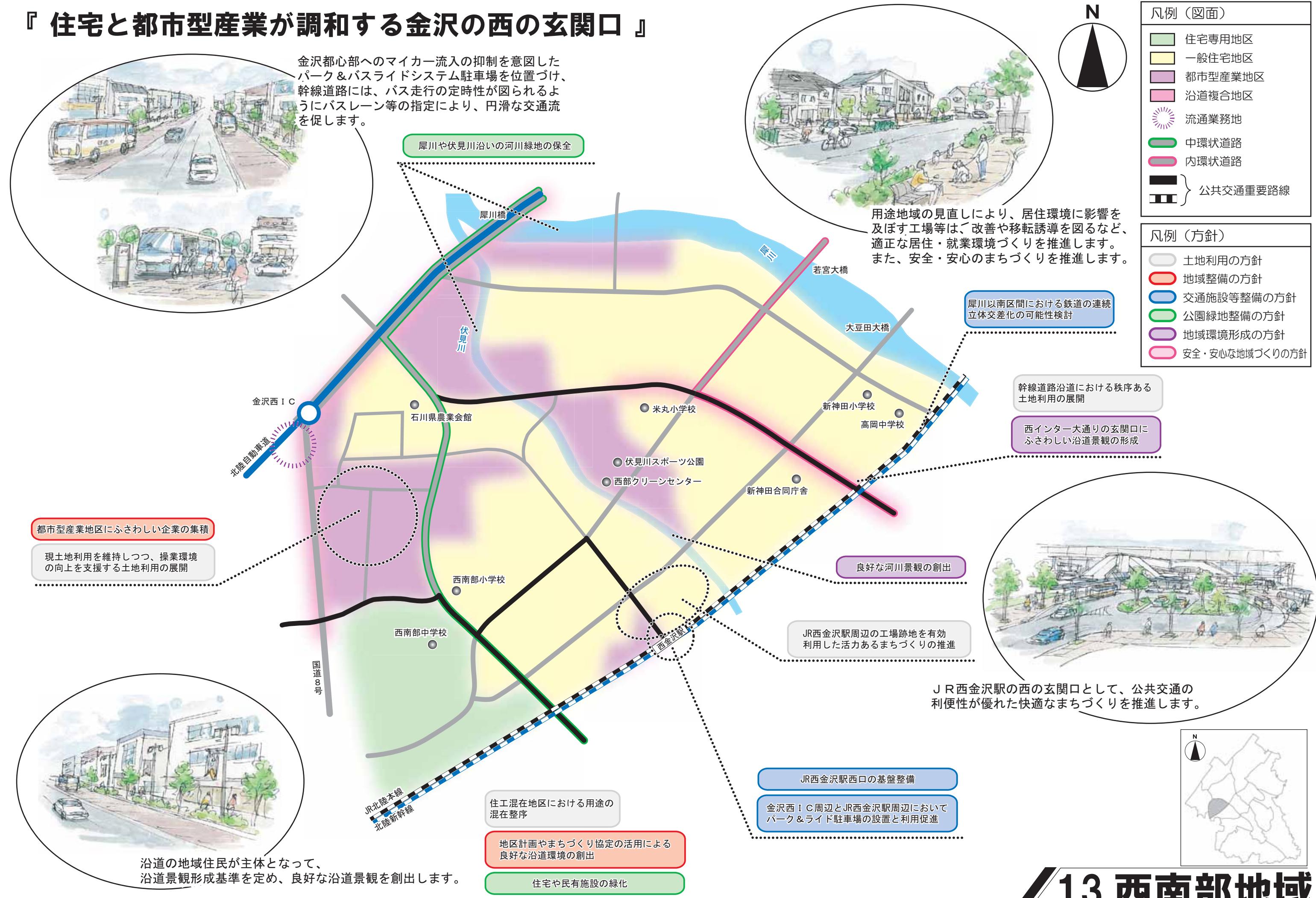
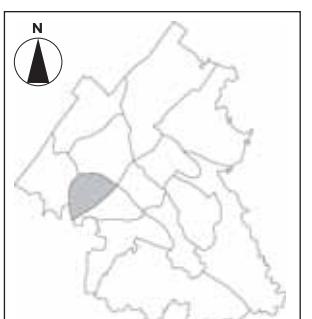
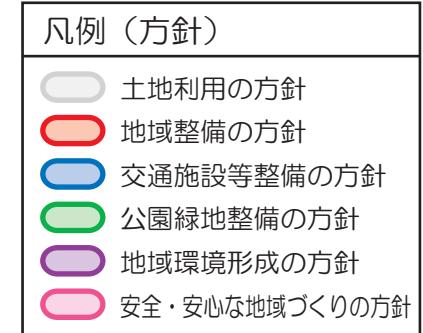
安全・安心な地域づくりの方針

- ・災害時の避難地や延焼遮断帯として機能するオープンスペースを確保するとともに、安全な避難路の確保を図ります。



【水辺環境の保全】

『住宅と都市型産業が調和する金沢の西の玄関口』



14. 西部地域

(1) まちづくりのテーマ

『外環状道路を基軸に、都市近郊農業と調和した 住宅・工業・レクリエーション地域』

金沢外環状道路海側幹線の開通に伴う工業並びに流通業務機能の強化を図るとともに、無秩序な市街化の抑制や住環境の保全を図り、住宅、工業、流通業務、農地など調和のとれた秩序ある地域環境の形成を図ります。

また、安原地区の優良な砂丘地園芸地を保全するとともに、海浜部の自然環境の保全や海浜レクリエーション拠点の整備充実など、良好な海浜環境の保全と活用を図ります。

(2) 主なまちづくりの方針

金沢外環状道路海側幹線沿いの工業並びに流通業務拠点の形成と機能充実を図ります。
砂丘地農業が展開されている優良農地の保全を図ります。
海浜部の自然環境の保全と、海浜レクリエーション施設の整備充実を図ります。
既存住宅団地の活性化や新興住宅地の良好な住環境の保全を図ります。

1) 土地利用の方針

- ・新興住宅地や農村集落地のゆとりある居住環境の保全を図ります。
- ・郊外型公営住宅団地であり、かつ老朽化が進展しつつあるみどり団地の再生について検討します。
- ・金沢外環状道路海側幹線周辺において、工業地や流通業務地としての土地利用の誘導を図ります。
- ・市街化調整区域内の集落等においては、自然環境と調和した土地利用を図ります。



【現在のみどり団地】



【集落地の適正なまちづくりの誘導】

- ・安原地区の優良農地の保全を図ります。
- ・西部緑地公園を活かしたまちづくりを展開します。



【優良農地】

2) 地域基盤整備の方針

地域整備の方針

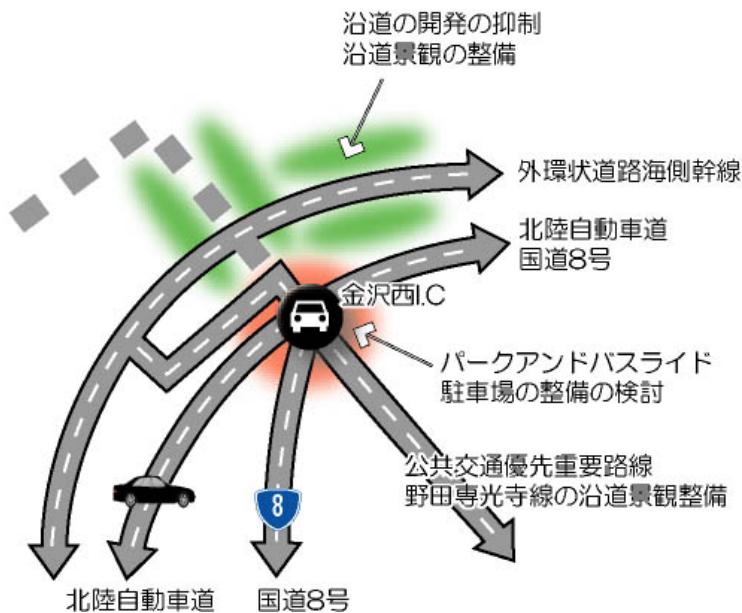
- ・良好な居住環境の保全、創出を図るため、地域住民との協働による地区計画やまちづくり協定の活用により、きめ細かなまちづくりの推進を図ります。
- ・特別用途地区の設定や地区計画の活用により、工業や流通業務機能の確保を図ります。
- ・市街化調整区域内の集落においては、定住人口やコミュニティ維持を図るため、地区計画制度を活用するなど、適正なまちづくりの誘導を図ります。



【工業や流通業務機能の確保】

交通施設等整備の方針

- ・金沢外環状道路海側幹線の未整備区間の整備を促進し、早期完成を図ります。
- ・路線バスの利便性向上について交通事業者と連携を図りながら検討し、利用活性化を推進します。
- ・海岸沿いを走るしおさいロードの有効活用を検討します。



【公共交通のネットワーク】

公園緑地整備の方針

- 本市の競技スポーツの拠点として西部緑地公園の管理運営の充実を図るとともに、自然と調和したレクリエーション空間として健民海浜公園の管理運営の充実、専光寺ふれあいの森等の整備充実を図ります。
- 健民海浜公園や専光寺ふれあいの森、普正寺の森、西部緑地公園、河川緑地等を結ぶ緑のネットワークの形成を検討します。

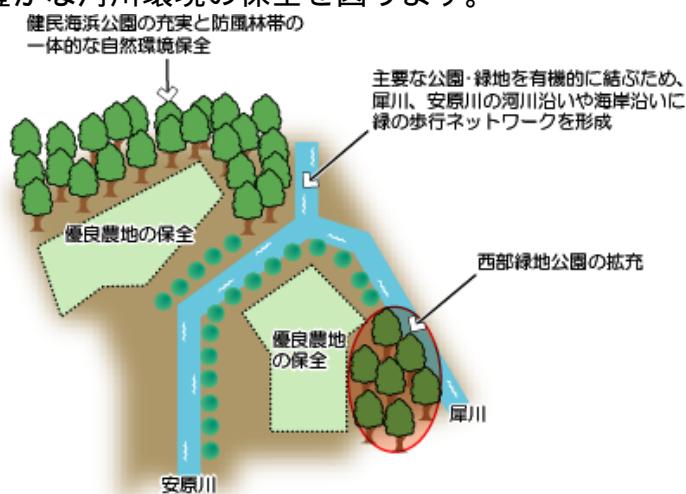


【海浜部の貴重な緑である
専光寺ふれあいの森】

3) 地域環境整備の方針

地域環境形成の方針

- 計画的に整備された住宅地においては、地区計画の活用により、個性豊かで質の高い景観形成を図ります。
- 金沢外環状道路海側幹線沿いにおける秩序ある沿道景観の形成を図ります。
- 上荒屋遺跡等の地域の貴重な文化財の保護を図ります。
- 防風、防砂機能のみならず風致保全上も重要な要素である海岸沿いの樹林帯の保全や、多様な動植物が生息している普正寺の森の保全と施設の充実を図ります。
- 魚が棲息し、良好な水質や豊かな自然が維持されている犀川、安原川等のうるおい豊かな河川環境の保全を図ります。



【緑と水のネットワークイメージ】

安全・安心な地域づくりの方針

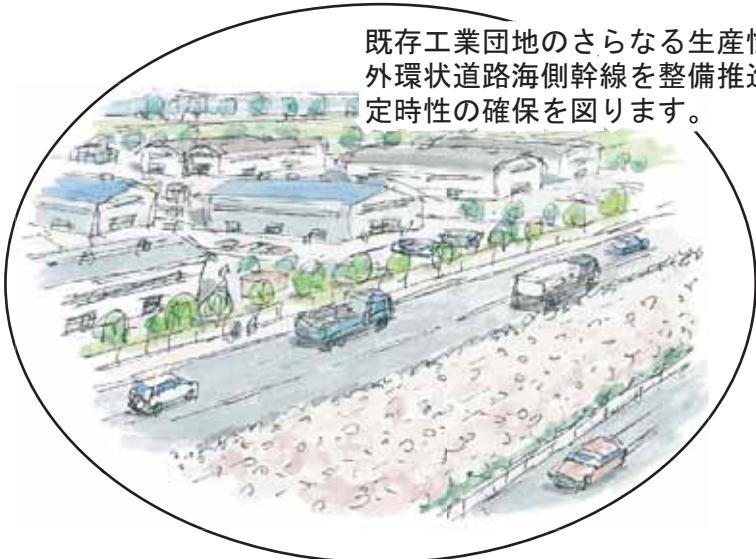
- 水害被害の防止のため、犀川、安原川等の河川改修を推進します。
- 風害、塩害防止帯として、海岸部の樹林地帯や海岸保安林等の保全、育成を図ります。

『外環状道路を基軸に、都市近郊農業と調和した住宅・工業・レクリエーション地域』



凡例(図面)	
	住宅専用地区
	一般住宅地区
	生産機能地区
	都市型産業地区
	農業環境保全活用地区
	自然環境共存地区
	主な公園緑地
	流通業務地
	外環状道路
	中環状道路
	公共交通重要路線
	緑のネットワーク

既存工業団地のさらなる生産性向上を支援するため、外環状道路海側幹線を整備推進し、物流の高速性と定時性の確保を図ります。



安原地区の優良農地の保全

自然と調和したレクリエーション空間として健民海浜公園や専光寺ふれあいの林等の整備充実

外環状道路海側幹線を整備推進し、生産物輸送の高速性と定時性の確保を図ります。また、地場の特産物を生産する貴重な優良農地を保全します。

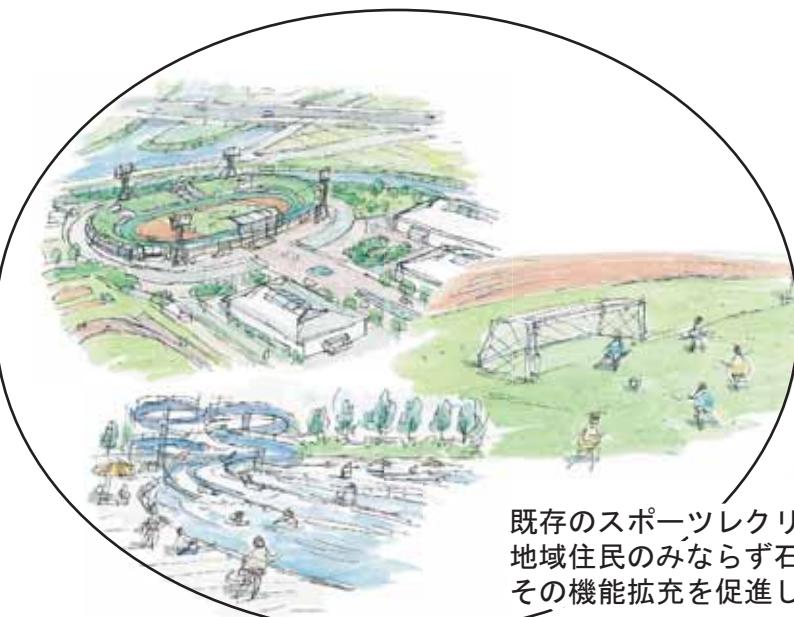


凡例(方針)

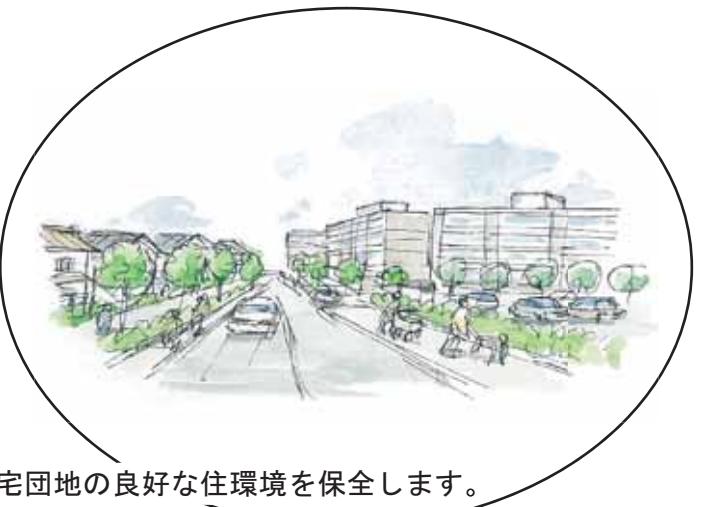
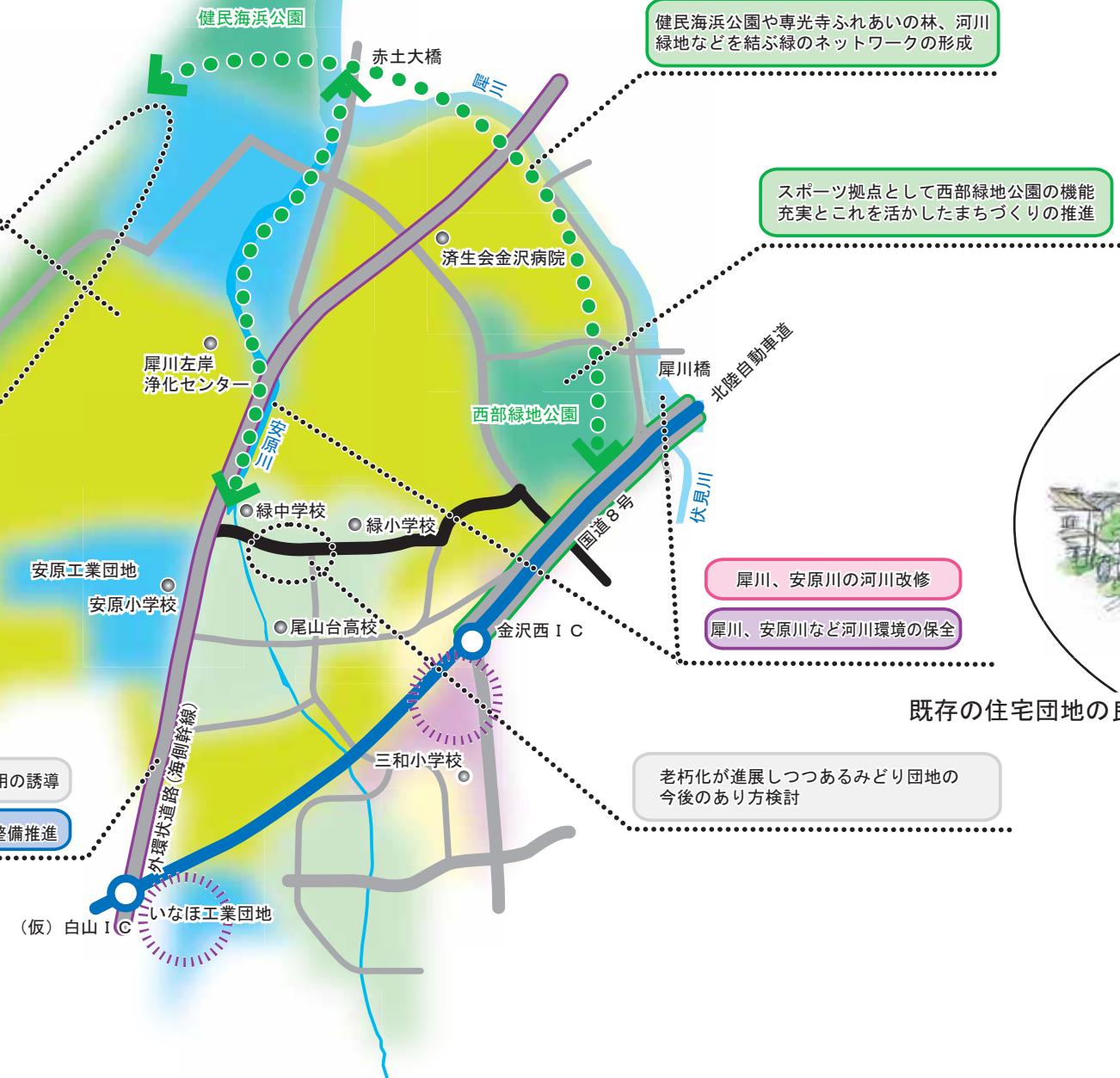
	土地利用の方針
	地域整備の方針
	交通施設等整備の方針
	公園緑地整備の方針
	地域環境形成の方針
	安全・安心な地域づくりの方針

海岸部の保安林等の保全・育成

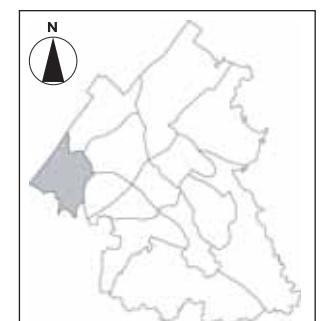
しおさいロードの有効活用の検討



既存のスポーツレクリエーション施設について、地域住民のみならず石川県の拠点施設として、その機能拡充を促進します。



既存の住宅団地の良好な住環境を保全します。



工業地や流通業務地としての土地利用の誘導

外環状道路(海側幹線)未整備区間の整備推進

老朽化が進展しつつあるみどり団地の今後のあり方検討

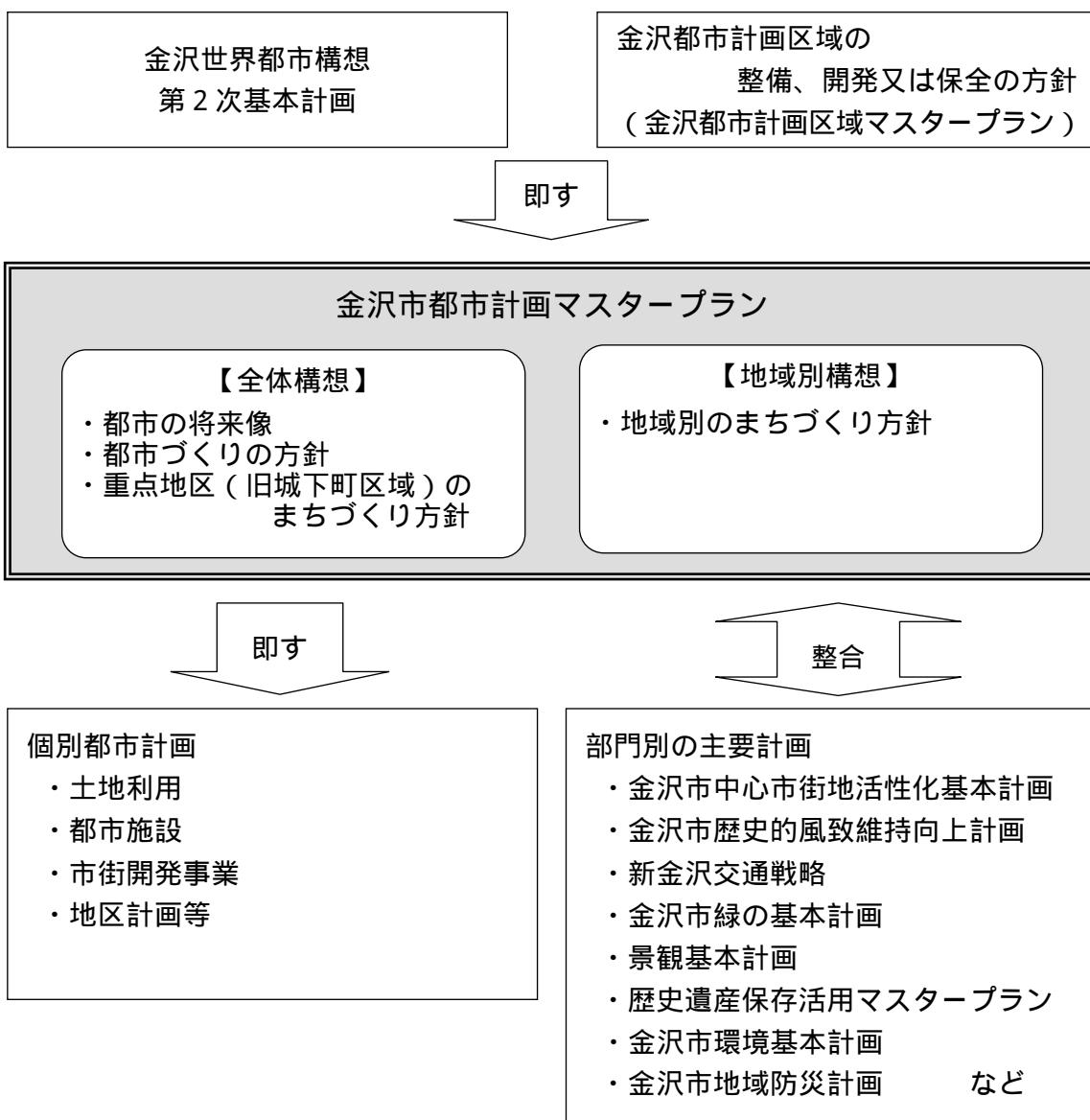
第6章 都市計画マスターplanの今後の展開とまちづくり

6 1 都市計画マスターplanの位置づけ

金沢市の都市計画マスターplanは、「全体構想」と「地域別構想」により、おおむね 20 年先の都市の将来像について目指すべき方向性を示すものとして位置づけます。

また、下図に示すように、上位・関連計画との整合や連携を図りながら、部門別や地区別の構想・計画において具体化を推進するなど、今後、各種計画と関連づけて展開させていくものです。

【都市計画マスターplanと各種計画の関連性】



6 2 都市計画マスタープランの今後の展開

(1) 市民と行政の協働によるまちづくり

まちづくり情報の発信と啓発

金沢市の今後の都市づくりに対する考え方を市民、事業者、行政で共有するため、市ホームページや広報誌、パンフレットの配布などを通じて都市計画マスタープランの周知を行います。

また、市民のまちづくりへの関心や意欲を高めるため、インターネットなどを活用したまちづくり情報の発信やまちづくりセミナー、出前講座の開催などによる啓発を推進します。

市民の積極的な参画の支援、推進

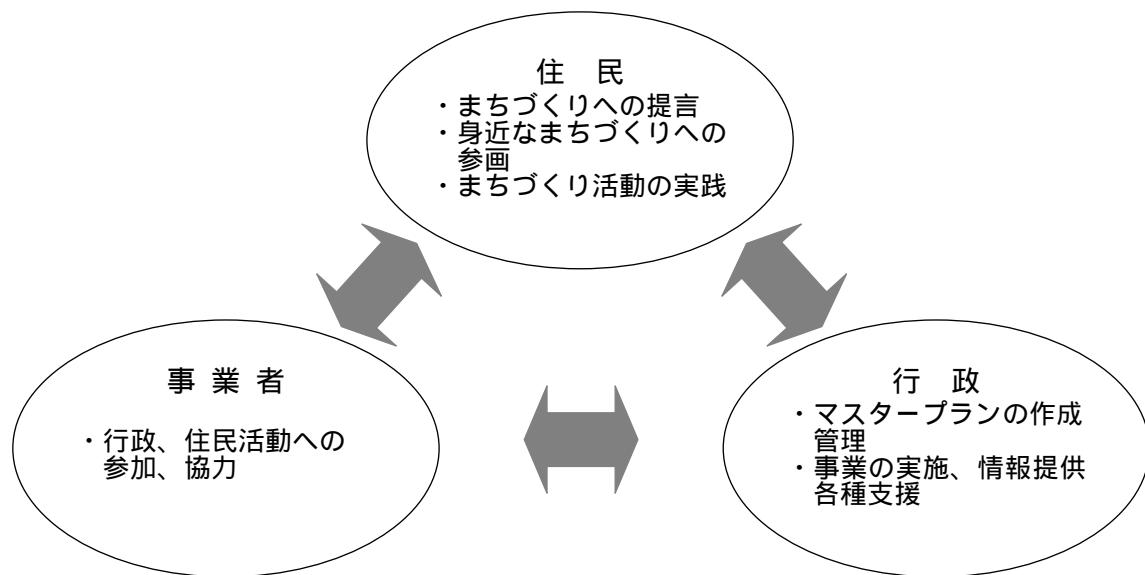
金沢市では、まちづくりへの市民参画を推進する仕組みとして、パブリックコメントや公聴会、アンケート調査、ワークショップなどを実施しているほか、都市計画提案制度の活用を図るなど、今後もこうした手法により、市民の積極的なまちづくりへの参画を促していきます。

また、本市では、個性豊かで住み良い金沢の都市環境を形成していくことを目指し「まちづくり条例（略称）」を制定してまちづくり協定の締結を支援、推進するほか、「緑のまちづくりの推進に関する条例」「歩けるまちづくりの推進に関する条例」「美しい景観のまちづくりに関する条例」などを活用することによって市民のまちづくり活動を支援します。

まちづくりを担う人材の育成

学校教育の場において、自分たちが住むまちの資源（ひと、もの、こと）の調査や探求などの活動を通じて、子どもたちのまちづくりに対する意識啓発を図ります。

また、団塊の世代など、新たな地域活動の担い手の参画を促進します。

【市民と行政の協働によるまちづくりの推進イメージ】

(2) まちづくりの推進体制の充実

庁内推進体制の充実

都市計画マスタープランは、都市計画、土木、環境、福祉等の各まちづくり分野との総合的・一体的なまちづくりを進めるための指針となるものです。このため、都市計画マスタープランと部門別計画、部門別事業間の調整を行い、整合を図りながらまちづくりを進めます。

関係機関や隣接市町との調整・協力体制づくり

国・県道の整備や海岸、港湾整備などについては、国、県をはじめとする関係機関と連携・協力しながら、役割分担や計画内容などについて具体的な協議を進めています。

また、公共交通の充実や自然環境の保全など、広域的に取り組むことが必要かつ効果的な施策については、隣接市町と行政界を超えた密接な連携を図り、一体的なまちづくりを進めます。

まちづくり団体等との連携

地域に根ざしたきめ細かなまちづくりや計画の実現を推進するため、NPOなどの市民団体、まちづくり活動支援団体、ボランティア団体、コミュニティ団体など、地域のまちづくり団体等と連携して施策の推進に努めます。

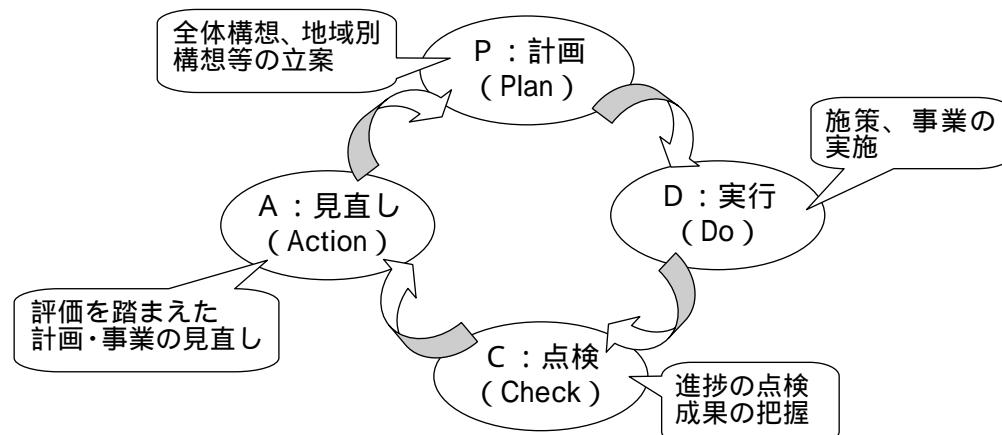
都市計画マスタープランの進行管理・見直し

このマスタープランは、おおむね 20 年後の平成 37 年を目標としたものですが、今後の社会経済情勢の変化により、新たな課題や市民ニーズへの対応が必要となることも予想されます。

こうした状況にあっては、計画事業の進行管理、成果の検証を行いつつ、都市計画基礎調査等を踏まえ、見直しが必要とされる時点で、上位計画との整合を図りながら、市民参加による計画の見直しを行います。

なお、進行管理・見直しにあたっては、P(計画)・D(実施)・C(点検)・A(見直し)サイクル(=マネジメントサイクル)を導入し、計画の着実な実現を図ります。

【点検と見直しのしくみ(マネジメントサイクル)のイメージ】



(3) 効率的・効果的なまちづくりの推進

計画的な事業実施

限られた財政の中で事業を推進していくために、各事業について、既存ストックの活用や緊急性、投資効果、波及効果など、多様な観点から優先順位の検討を行い、効率的・効果的なまちづくりを推進します。

条例、諸制度の有効活用

個性豊かな都市景観の形成や斜面緑地の保全、良好な街並み形成など、金沢独自の地形、風土の骨格を活かした都市づくりを進めるためには、ハード整備や現行の法制度だけでは十分に対応しきれないため、景観条例や斜面緑地保全条例など、金沢市が定める各種条例や建築協定、緑地協定等の諸制度の有効活用を図ります。

また、歴史まちづくり法に基づく歴史都市第1号に金沢市が認定されたことを踏まえ、国の財政支援制度を活用しながら、文化財周辺の無電柱化や金沢城惣構の復元など、歴史資産を活かしたまちづくりを推進します。

地域管理（エリアマネジメント）の推進

地域における良好な環境や地域の価値の維持、向上のため、住民、事業者、地権者等が主体となり、開発当初からの維持、管理、運営までを考えたまちづくりを推進します。

民間活力の有効活用

PFI手法や指定管理者制度などの民間活力を積極的に導入することで、多様化する市民ニーズに対応したまちづくり事業を推進します。